床材の近し

- P.42 施工の共通事項
- [1] ビニル床タイルの施工
- P.44 ビニル床タイルの施工
- P.46 ビニル床タイルの施工 / 階段施工
- P.47 目地棒を利用した施工
- P.48 ビニル床タイルの施工 / 異形サイズ
- P.53 二重床上へのルースレイタイルの施工
- P.54 LAYフローリングの施工
- P.57 ゴム床タイル(プラート)の施工
- P.58 ビニル床シートの施工
- P.61 [column] ビニル床タイル、ビニル床シートの 初期メンテナンスに関して
- P.62 継目処理(溶接棒)
- P.63 継目処理(東リジョイントシールド)
- P.66 **継目処理(シーム液・アロンアルフアⅡなど)**
- P.67 継目処理(スーパーシーム液)
- P.68 **継目処理(NSシール・エポキシパテなど)**
- P.69 ビニル床シートの施工 / 階段(ひな段式)の施工
- P.70 **東リアンダーレイシート上への施工**
- P.72 **巻上げ施工**
- P.74 ビニル床シートの施工 / 耐水工法(簡易防水工法)
- P.76 **NSシートの施工**
- P.77 **東リNSステップ800**
- P.80 NSアンダーレイシート
- P.80 **NSパス**
- P.81 **NSパス蓋付**
- P.83 浴室用ビニル床シート『バスナシリーズ』の施工
- P.88 導電性ビニル床シート『アースリューム』の施工
- P.89 舞台用ビニル床シート『TMフロア』の施工

- [3] タイルカーペット・ロールカーペットの施工
- P.90 タイルカーペットの施工
- P.92 タイルカーペット用アンダーレイシートの施工
- P.93 ファブテックタイルの施工
- P.94 ロールカーペット / フェルトグリッパー工法
- P.98 ロールカーペット / フェルトグリッパー工法 / 廊下
- P.99 ロールカーペット / フェルトグリッパー工法 / 階段
- P.100 ロールカーペット / 全面接着工法
- P.102 **ロールカーペット / 置敷き工法**
- P.104 ロールカーペット / ボーダー回し(島)
- P.105 **ハノーク カーペットの施工**

[4] 巾木・立面材の施工

- P.106 **巾木の施工**
- P.107 ソフト巾木・ロング巾木の施工
- P.108 **スタイル巾木の施工**
- P.109 ササラ巾木の施工
- P.110 防汚抗菌ワイド巾木の施工
- P.111 **腰壁シートの施工**
 - (東リ 防汚消臭腰壁シート・東リ 不燃腰壁シート)
- P.115 **腰壁シートの施工(ファブテック腰壁)**

[5] その他の施工

- P.116 床暖房システムの構造と床材施工
- P.120 視覚障害者用床材の施工
- P.122 **段差調整材の施工**
- P.123 **重ね貼り工法**

1. ビニル床タイル・タイルカーペットの割付け

割付け

- ●原則として、左右対称に割付けます。(デザイン指示がある) 場合はそれに従い割付けます。)
- ●壁際には、1/3以下の寸法のものが入らないようにします。

基準線

タイルは、まっすぐ貼ることが難しい。部屋の長手方向に基準 線を墨打ちします。基準線に沿って、タイルを丁寧に敷き並べ ていきます。

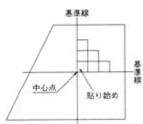


長方形の部屋



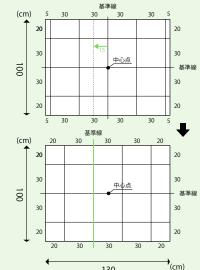
- 1.部屋のA方向の寸法を2ヶ 所で測り、それぞれの中心 点を求め、その2点を結び 墨打ちします。
- 2. 墨打ちした基準線上にB方 向の中心点を求め、その中 心点上にA方向の基準線を 設けます。
- 3.中心点から各辺に必要な枚 数を算出します。

台形の部屋



メモ

● 130cm×100cm角スペースにおける割付け例 (30㎝角のビニル床タイルを使用)

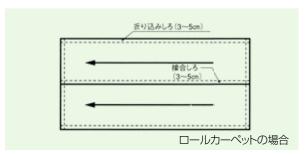


130

中心から貼り始め た際、左右に端 物が入る場合基 準線を1/2枚分 ずらして貼付け基 準線とします。

2. ビニル床シート・ロールカーペットの割付け

- ジョイントは少なくします。
- ●出入口部にジョイントが入らないようにします。
- ●ジョイントは部屋の長手方向に合わせます。

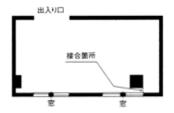


接合(ジョイント)作業の時、ビニル床シートの両耳(端)のひ ずみを切り落としてまっすぐに揃えてから接合します。

ビニル床シートもロールカーペットの折り込みしろ同様に割付 けサイズそのままでは施工できません。ビニル床シートの両端 に、必ず1辺について3~5cm余分に必要です。これを接合し ろ(または整理切りしろ)と言います。

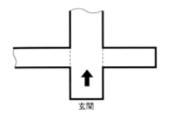
1)室内

- ●出入口付近や窓・家具・什器の配置上よく通るところに接合 がかかることは、できるだけ避けるように割付けます。
- ●室内に柱がある場合は、歩行が少なく出入口から見えにくい ところで接合するように割付けます。(下図)

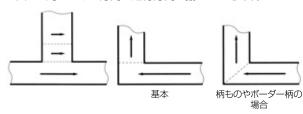


2) 廊下

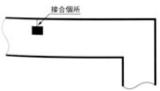
●廊下では、接合位置は玄関など、主とする出入口から見え にくいところに割付けていきます。



●曲がり角のパイル方向は進行方向に揃えます(矢印)。



●柱がある場合は、歩行量が少なく見えにくいところで接合す るように割付けます。



メモ 基準線

壁際から貼り始めるため、原則として基準線は必要ありません。ただし、壁が複雑でビニル床シートやロールカーペットをまっすぐに施工できない場合は、最初に貼り始める位置に基準線を決め、墨打ちします。

3. 施工の前に(確認事項)

- ●同一空間は同ロットの製品で施工します。施工前に、色番・ ロット番号・数量を確認してください。
- ●タイル・タイルカーペットは市松貼りの場合と、流し貼り(流れ方向を合わせる)の場合があります。デザイン指示書もしくは裏面の矢印方向などで確認してください。
- ●ビニル床シート・ロールカーペットは流れ方向を合わせます。裏面の矢印方向などで確認してください。
- ●ビニル床シートの施工では、耳部どうしでジョイントしてください。耳部と中央部とのジョイントでは色違いが生じることがあります。

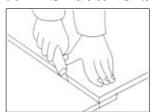
4. 裁断方法(例)

重ね切り



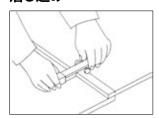
2枚の材料を重ねて2枚同時 に裁断します。

合わせ切り(片落し方式)



上にくる材料を基準に、上の 材料に沿わせて下の材料を裁 断します。

落し込み

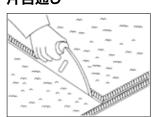


落し込みであらかじめけがいてから、カッターで裁断します。



裁断鋏の刃先などを使って、カーペットの裁断箇所のパイルをさばいて裁断線をつけ、これに沿ってループパイルカッターやはさみなどで裁断します。

片目通し



あらかじめ目通しした材料を上に置き、これに沿わせて下の 材料を裁断します。

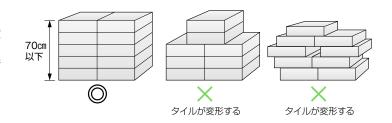
施工上の特性

- ◎タイルは四角形で1枚の面積が小さく目地が多いため、以下の点に注意してください。
 - ●接着不良による剥がれ、突上げ、目地隙きなど施工後の形状変化が発生しやすい。
 - ●まっすぐ施工しにくい。
 - ●品番·色番·ロットによって寸法に若干のバラツキがあるので、柄貼り時には特に殺し貼りなどの寸法調整が必要。
 - ●大面積では目地のずれが生じやすい。
 - ●接着剤が目地から染みやすい。
- ◎コンポジションビニル床タイルは材質的に硬いため、下地の凹凸になじみにくく割れやすくなります。
- ◎複層ビニル床タイルは温度変化によって寸法変化しやすいのでご注意ください。
- ◎ビニル素材のため高温に弱く、変形や凹み跡が出るおそれがあります。
 トーチランプを使用する場合は加熱しすぎると焦げたり溶けて変形することがあるのでご注意ください。

運搬・保管上のご注意

●製品は梱包をとかずに、平坦な場所に保管し、積載は70mまでを限度とします。

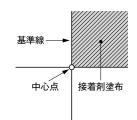
積み過ぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水などによる水濡れは避けてください。 変形・変退色・変質の原因となります。



施工手順

- 1 下地が強固で、平滑なことを確認し、ワックスや汚れは除去します。隙間や段差等は補修します。
- 2 貼付け方向、取り合わせを検討し割付けます。
 - 部屋の縦・横寸法の最大値、出柱などの位置を実測して、これに応じた割付けを行います。
 - ●壁際は小さなサイズの端物が入らないよう割付けは配慮してください。サイズが小さいと美観を損ねるだけでなく、壁際は接着剤が乾き気味で施工することが多いため、接着が不完全になりやすく、充分な接着強度が得られないおそれがあります。
 - ●壁際に小さなタイルが入る時は、1枚手前の真物と同時に接着剤を塗布することで接着不良を抑えることができます。

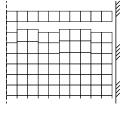




接着剤の貼付け可能時間 や作業スピード、および作 業環境を考慮にいれ、必 要な面積だけ指定接着剤 を塗布してください。 4

所定の待ち時間をとり、目地ズレのないように、圧着しながら貼り広げていきます。

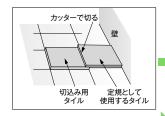
- 市松貼りや方向性のあるタイルは、裏の矢印を見て 間違えないように施工してください。
- ●広い部屋では、目地ズレが 発生することがあります。 そ のときは、ズレが大きくなら ないうちに、1 枚先の最も 短いタイルの目地に合わせ て貼り固めてから、カンナな どでタイルの大きさを調整 し、はめこみます(殺し貼り)。



5

壁際や柱回り、パイプ周囲などに貼るタイルは、隙間や浮きがないように切込み、ローラーで圧着します。

[切込みタイルのカット方法]









〈合わせ切り〉

切込みを行うタイルを一枚手前のタイルの上に正確にのせます。 定規として使用する別のタイル一枚を壁に沿わせて、切込みする タイルの上に重ね、その端をカットします。



ハンドローラーを使い、床材全体 を充分に圧着してください。



切り口が粗い時やタイル寸法が きつい時はカンナで修正してくだ さい。

切込み枚数が多い時は、接着剤が乾燥することがあるので、切込み後に接着剤を塗布するなどの配慮が必要です。

[パイプがある場合の施工方法]



切込みを行うタイルを一枚手前 のタイルの上に正確にのせ、印 を付けます。周囲の何点かも同 様に一枚手前のタイルに正確に のせ印を付けます。印をつない でカッターで切ります。







ヘアドライヤーなどで温めな がらタイルを貼付け、ハンド ローラーで充分に圧着してく ださい。

- 6 貼付け後30分以内にTローラー (タイルローラー)や3本ローラー(45kgローラー)などで充分に圧着します。
- 7 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、接着強度が出るまで養生期間をとります。(溶剤形および反応形接着剤:48時間、ラテックス形・エマルション形:7日以上)

施工直後に養生シートをした場合、床タイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気がこもり、床タイルの反り・突上げなどが生じる可能性があります。養生シートは接着剤が充分硬化してから使用してください(P.37参照)。



温度が低く、圧着やなじみがうまくいかない時



適切な室内温度に加温してください。特に冬期は、施工中は10℃以上を保つようにします。低温時には運搬中に床材が冷えていることが多いので、事前に床材を室内に保管し室温になじませてから施工します。

ビニル床タイルの施工/階段施工

第 1 辛

宋 2 音

施工手順

階段施工の順序

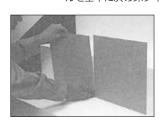


※ノンスリップの形状により踏み面の施工とノンスリップの 取付けの順序は逆になることがあります。

1 蹴上げの割付け・基準線を設定します。



- 直階段の場合、階段幅の左右 対称に貼付けます。左右それぞれの壁際の残り幅が床タイルの 1/3以下の場合、どちらかに床 タイルを半分ずらした位置を基 準線とします。
- ●踊り場のある階段は、踊り場を 基本に割付けます。
- 2 蹴上げの施工。基準線から順々に貼り広げていきます。
 - ●基準線に合わせて、踏み面に沿うようにけがき、このタイルを基準に次の床タイルの下辺を合わせてけがきます。



- ●接着剤は巾木糊・LX巾木糊を 使用してください。
- 3 端物のタイルは、合わせ切りします。



注意

タイルは事前に貼付ける順番通り重ねておきます。

4 上端は、ノンスリップ金物にのみ込まれるように直定規で裁断します。裁断後、ハンドローラーで入念に圧着してください。





5 踏み面にタイルを貼付けます。



- 6 ノンスリップ金具を取付けます。
- 7 接着剤などによる 汚れや不備な点が ないかを確認しま す。必要に応じて 養生してください。





蹴上げ部のタイルが踏み面 となじまない場合



踏み面に沿うように下辺を けがいて施工します。小さ な巾定規状のものを利用す るとよいでしょう。



目地棒を利用した施工

目地棒は通常、ビニル床タイルの目地部のアクセントとして使用します。 300mm角や450mm角のタイルを1枚、2枚、4枚、9枚などを1ブロックとして、その周りに目地棒を入れて施工します。

施工上の特性

◎非常に細く、タイルの厚みより薄いことから、貼った際にタイルの目地棒が低く圧着がききにくいため、接着不良になりやすいのでご注意ください。

※規格2mm厚の目地棒の実寸は1.8mm厚で2mm厚タイル用、規格3mm厚の目地棒の実寸は2.8mm厚で3mm厚タイル用です。

- ◎目地棒は樹脂の配合量が多く、材質的に寸法変化しやすいため、以下の点に注意してください。
 - ●急激な温度変化の影響で寸法変化しやすく、特に高温時は伸びやすい。
 - ●下地湿気がある場合、接着剤が無力化して寸法変化を抑えられず、また、目地棒部分の面積が小さいことも手伝って、 突上げによる目地棒の剥がれが生じやすい。

施工手順

- 1 目地棒の材料計算をして、およその使用 本数を算出します。
 - 1 ㎡当たりに必要な目地棒の大まかな使用本数の算出方法
 - a:目地棒で囲むタイルの1区画分の縦の長さ(m)
 - b:目地棒で囲むタイルの1区画分の横の長さ(m) 0.92m=目地棒の長さ

l ㎡当たりの使用本数 =
$$\frac{(a+b)}{(a\times b)\times 0.92m}$$

2 床材の施工手順に準じて割付け基準線を 設けます。

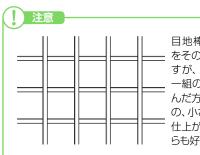
(ビニル床タイル・タイルカーペットの割付け P.42参照)

- 3 基準線に従って、接着剤を塗布します。
- 注意

目地棒を使用した施工でゴム系ラテックス形接着剤(エコロイヤルセメント)は使用できません。一般工法で指定接着剤が「エコロイヤルセメント」の場合でもアクリル樹脂系エマルション形接着剤「エコ AR600」を使用してください。

※ウレタン・エポキシ樹脂系接着剤はそのまま使用可能です。

4 所定の待ち時間をとり、目地ズレのないように、タイル・目地棒と交互にはさんで圧着しながら貼り広げます。目地棒部分も、目地棒幅のローラーで念入りに圧着します。目地棒は線の入っている方を下にして施工します。



目地棒の縦方向は目地棒をそのままつないでいきますが、横方向はタイルの一組の長さに切ってはめこんだ方がロスは大きいものの、小さな目地棒が入らず、仕上がりの美観や接着力からも好ましいと言えます。

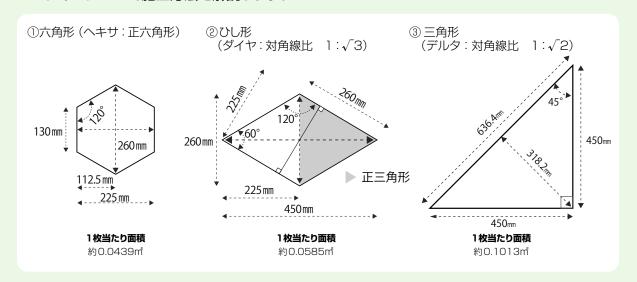
■ ×ŧ

床材より目地棒 が低く、圧着し にくい。

- 目地棒の上にもう一本目地棒を のせ、その上からハンドローラー で押さえます。
- 5 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、接着強度が出るまで48時間以上養生期間をとります。必要に応じて養生シートで養生してください。(P.45参照)

施工上の特性

○異形サイズのビニル床タイルは、正方形や長方形のタイルと比較して施工方法が異なります。 タイル形状が"六角形"(ヘキサ)と"ひし形"(ダイヤ)、"三角形"(デルタ)の 3タイプについて施工方法を解説します。



注意

- ・鋭角部分は欠けやすく鋭利なため、取扱いには充分注意してください。
- ・梱包時でも取扱い方によっては鋭角部分がつぶれることがあります。箱を壁にぶつける、落とすなどしないでください。

施工手順

1

タイルの必要枚数確認。

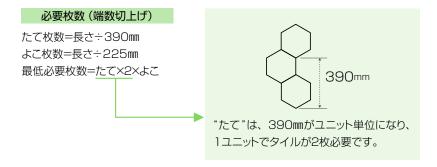
- ●施工部位の面積を異形タイル1枚当たりの面積で割って算出。
- ●貼付けパターンに応じて下記方法で算出。
- ※いずれも施工時のロス率を見込んだ数量で材料を手配してください。 ただし、多色の貼付けではパターンにより各色タイルの必要数量に差が出ることを考慮してください。



六角形 (ヘキサ)

割付基準線に対して、タイルの辺のたて線が見える方向を"たて"、直交する方向を"よこ"とします。 "たて"דよこ"の2倍が最低必要数量となります。

<貼付けイメージ図>



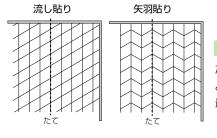


ひし形 (ダイヤ)

1)流し貼り、矢羽貼り、ダイヤ貼り

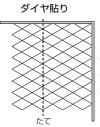
割付基準線に対して、タイルのたて線が見える方向を"たて"、直交する方向を"よこ"とします。 (ダイヤ貼りでは、割付基準線とタイルの対角線が平行・直交します。) "たて"דよこ"が最低必要数量となります。

<貼付けイメージ図>



必要枚数 (端数切上げ)

たて枚数=長さ÷260mm よこ枚数=長さ÷225mm 最低必要枚数=たて×よこ

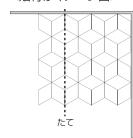


たて枚数=長さ÷260(450)mm よこ枚数=長さ÷450(260)mm 最低必要枚数=たて×よこ

2) 3枚組み合わせの六角形貼り

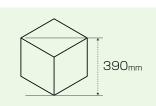
割付基準線に対して、タイルのたて線が見える方向を"たて"、直交する方向を"よこ"とします。 "たて"דよこ"の3倍が最低必要数量です。

<貼付けイメージ図>



必要枚数(端数切上げ)

たて枚数=長さ÷390mm よこ枚数=長さ÷450mm 最低必要枚数=たて×3×よこ

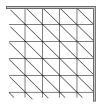


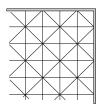
"たて"は、390mmが ユニット単位になり、1ユニットで タイルが3枚必要です。

三角形 (デルタ)

1) 450角貼り

割付基準線に対して、"たて" "よこ"はいずれの方向でも構いません。 **"たて"×"よこ"の2倍が最低必要数量**です。 **<**貼付けイメージ図**>**





必要枚数(端数切上げ)

たて枚数=長さ÷450mm よこ枚数=長さ÷450mm 最低必要枚数=たて×よこ×2

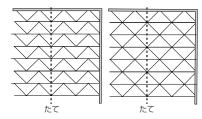


1ユニットでタイルが2枚必要です。

2) 三角貼り

割付基準線に対して、タイルのたて線が見える方向を"よこ"、直交する方向を"たて"とします。 "たて"דよこ"の2倍が最低必要数量です。

<貼付けイメージ図>



必要枚数 (端数切上げ)

たて枚数=長さ÷318.2mm よこ枚数=長さ÷636.4mm 最低必要枚数=たて×よこ×2



"よこ"は、636.4mmがユニット単位 になり、1ユニットでタイルが2枚 必要です。



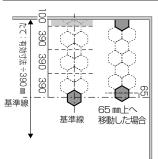
割付け

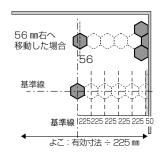
異形タイルの施工では基準線の設け方が難しくなります。特に、壁回り等では切込み寸法の小さいタイル (5~6cm以下) が規則的に発生します。この対策としては、壁周り等の少し手前で異形タイルを裁断して直線状に納め、その周りをボーダー状に囲う方法をおすすめします。

ボーダーで囲わない場合は基準線をずらし下記の方法で割付けてください。



六角形 (ヘキサ)





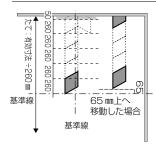
"たて"寸法を390mmで割った余りが

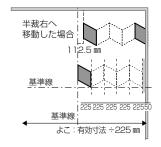
1mm~130mm: 基準線を130mm上下どちらかに移動 131mm~260mm: 基準線を65mm上下どちらかに移動 261mm~390mm: 基準線を130mm上下どちらかに移動

"よこ"寸法を225mmで割った余りが 1mm~112mm: 基準線を56mm左右どちらかに移動 113mm~225mm: センター割付



ひし形 (ダイヤ)

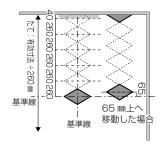


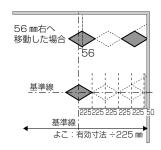


1)流し貼り、矢羽貼り

"たて"寸法を260mmで割った余りが1mm~130mm: 基準線を65mm上下のどちらかに移動131mm~260mm: センター割付

"よこ":一般の正方形タイルと同じ割付

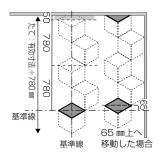


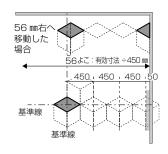


2) ダイヤ貼り

対角線の短い方向の寸法を260mで割った余りが 1mm~130mm: 基準線を65mm上下のどちらかに移動 131mm~260mm: センター割付

対角線の長い方向の寸法を225mmで割った余りが 1mm~112mm: 基準線を56mm左右のどちらかに移動 113mm~225mm: センター割付





3) 3枚組み合わせの六角形貼り

"たて"寸法を780mmで割った余りが

1mm~130mm: 基準線を65mm上下のどちらかに移動

131mm~520mm: センター割付

521mm~650mm: 基準線を65mm上下のどちらかに移動

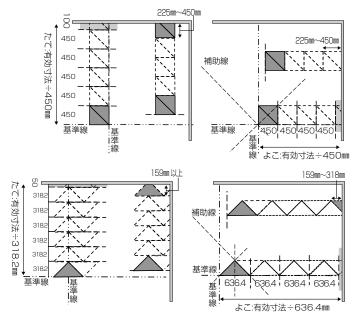
651mm~780mm: センター割付

"よこ"寸法を450mmで割った余りが

1mm~112mm: 基準線を56mm左右のどちらかに移動

113mm~450mm: センター割付

三角形(デルタ)



1) 450角貼り

"たて"寸法を450mmで割った余りが

1mm~224mm:端材が225mm~450mmになるように

基準線をずらしてください。

225mm~450mm: そのまま割付け

※直交する"よこ"寸法は"たて"同様です。

※45°の補助線があるとタイルのズレが

修正しやすいのでおすすめします。

2) 三角貼り

"たて"寸法を318.2mmで割った余りが

1mm~159mm:端材が159mm以上になるように基準線

をずらしてください。

160mm~318.2mm: そのまま割付

"よこ"寸法を636.4mmで割った余りが

1mm~318mm:端材が159mm~318mmになるように

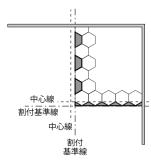
割付線をずらしてください。

318㎜~636.4㎜: そのまま割付け

※十字45°の補助線があるとタイルのズレが

修正しやすいのでおすすめします。

3 接着剤塗布および貼付け



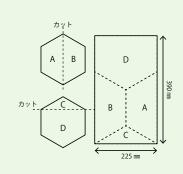
- ①割付基準線に合わせて、タイルを貼付けパターンで2~3列仮敷きし、その形状に合わせて 下地に線を引きます。
- ②仮敷きしたタイルを取外し、形状に合わせて引いた線からはみ出さないように接着剤を塗布します。
- ③ 待ち時間を取りタイルを貼付けます。目地ズレが発生した場合はズレが大きくならないうちに、カンナなどでタイルの大きさを調整し納めてください。調整が難しい部分には目地補修剤を充填して目地部を仕上げます。

4 壁際の切込み

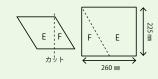
壁回り等の仕上げは、切込むタイルを一枚手前のタイルに乗せ"寸法取り用定規"を使用して納めます。

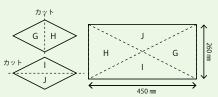
壁際の切込みはユニット単位を基にした"寸法取り用定規"を使用すると便利です。

■ 六角形 (ヘキサ) 寸法取り用定規



ひし形 (ダイヤ) 寸法取り用定規

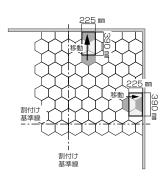




A) 流し貼り、 矢羽貼り用: 260mm×225mm

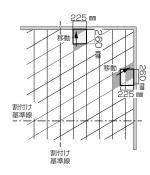
B) ダイヤ貼り用: 260mm×450mm

● 六角形寸法取り用定規 (225mm×390mm)を 使用した端部処理

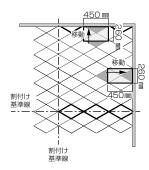


● ひし形寸法取り用定規 (A) 260mm×225mm、B) 260mm×450mm) を使用した端部処理

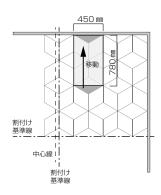
流し貼り·矢羽貼りは、 A) 260mm×225mmの 定規を使用します。



ダイヤ貼りは、 B) 260mm×450mmの 定規を使用します。

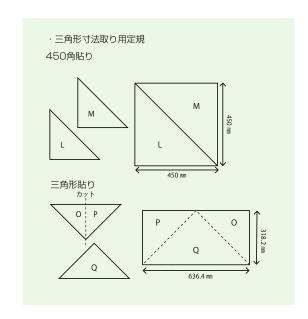


※3枚組み合せの六角形 貼りは"たて"のリピート は780mmになります。 780mm×450mmの定規 を使用して納めますが、 誤差が大きくなりやすい のでご注意ください。 別法としては、B)の定 規を作成し、頂点に合わ せて平行移動させる方 法もあります。

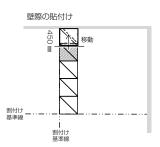


●三角形寸法取り用定規を使用した納め方

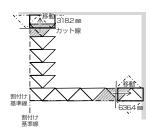
三角形寸法取り用定規を用いて壁際を納めます。



450角貼りは、 450m×450mの 定規を使用します。

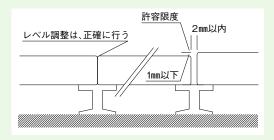


三角形貼りは、 318.2mm×636.4mmの 定規を使用します。



施工上の特性

- ◎ピールアップ性が求められるため、「エコGA セメント」で施工してください。
- ◎パネル間に隙間 (クリアランス) があり、この隙間に床材がなじむことにより段差などが 発生しやすいので注意が必要です。
- 施工前に下地パネルは全て施工を完了しておきます。下地パネルの段差は1m以下、隙間は2mm以内に抑えてください。この限度を超えた場合、ルースレイタイル表面にパネル目地や段差が現れ、美観を損ねます。
- 接着剤やメンテナンスの際の洗剤などが流れ込まないように、パネルと 床材を目地をずらして貼ります(またぎ貼り)。
- ●開口率の高いパネルや凹凸のはげしいパネルはルースレイタイルの破損、突上げが発生するおそれがあるため施工できません。

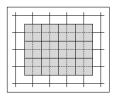


施工手順

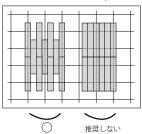
1 パネル目地とタイル目地を半分程度ずらして割付けます。これによりパネルの段差の影響を抑えることができます。 (1/2スライド工法・またぎ貼り)

> パネルとルースレイタイルの目地を合わせると目地ス キ、段差などが発生することがあります。

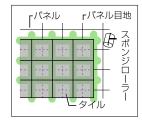
●正方形タイプ (500mm×500mm)



●プランクタイプ (166.7mm×1000mm/ 250mm×1000mm)



- ・プランクタイプ (形状が長方形のもの) は左側のようにずらして貼るようにしてください。端を揃えて貼ると目地が不揃いになりきれいに納まりません。
- 2 フリーアクセスフロアは全面塗布せず、 パネルの目地部分を避けスポンジローラー で接着剤を塗布してください。

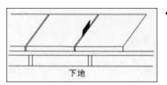


※樹脂製のOAフロアはスチール製 等のものに比べ接着力が劣りま す。接着強度を出すため、全面 塗布してください。

パネルの目地・支持脚の固定ネジ などへ接着剤が流れないよう注意 します。

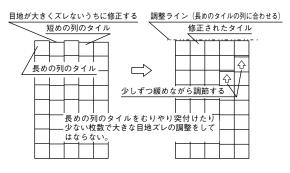
注意

- ●パネル目地や固定ボルトに接着剤が浸透しないように要注意。
- ●ピールアップ効果をもたせるため、接着剤が半透明になってから施工します。
 - 室温15℃以下ではタイル間に名刺一枚分の隙間を空けてゆるめに施工してください。



◆詰めすぎて施工すると、後日、 突上げが発生することがあり ます。

パネルの段差や目地スキの不陸が大きいと、施工中に目地ズレが生じる場合があります。5~10枚程度施工してから、再度調整ラインを設定し、調整します。この時も、詰めすぎないように注意します。タイルカーペットと突き合わせて施工する場合は、目地ズレが生じやすいため、調整ラインを必ず設けてください。



4 接着剤などによる汚れや不備な点がないか を確認し、必要に応じて養生シートで養生 してください。

AYフローリングの施工

施工上の特性

◎LAYフローリングは、既設床に「重ねて貼れる」増し貼り用床材です。そのため、他のビニル 床タイルと施工方法が異なります。

ピールアップ型接着剤「LAY セメント」を使用します。詰めすぎた施工は突上げるおそれがあ りますので、同梱のLAY-JIG(治具)を使用しゆるめに施工することがポイントです。

- ◎施工前に既存床の状態をご確認ください。
 - ●クッションフロア下地

下地のクッションフロアが厚く (3mmより厚い) 柔らかい場合、タイルの端部付近に荷重が掛かると、浮きおよび 目地段差が発生するおそれがあります。

●フローリング下地 防音フローリング等、下地にクッション層があり、たわみがあるフローリングの上には施工できません。

施工手順

- 下地が固定されており、平滑なことを確認 し、ワックスや汚れは除去します。 隙間や段差等は補修します。
- 貼り方向、取り合わせを検討し割付けます。 長さ20cm×幅5cm以下にカットしたLAYフローリングが出な いように割付けてください。
- ※小さくカットして貼られたところに重量物等を乗せるとLAYフロー リングが浮き上がる場合があります。やむを得ず、上記サイズ以下 のLAYフローリングを貼付ける場合は、LAYフローリング裏面に 瞬間接着剤 (アロンアルフア) を点付けして施工してください。



接着剤の塗布

接着剤が最適な塗布量になるように、 LAYセメントに同梱の専用はけをご使 用ください。

接着剤が完全に透明になってから貼始 めてください。接着剤が白く残ってい る状態で貼始めないでください。

先付け巾木など、LAYセメントの付着 するおそれのある場合は必ず養生して ください。







※専用はけを繰り返して使用する場合

使用直後にLAYセメントが付着した先端部分を水洗いしてくださ い。そのまま放置すると先端部が固まり使用できなくなります。ま た水洗いした後は、布などで水を拭き取ってください。

使用後、先端部分のへたり・磨耗が激しい場合は、繰り返して使用 しないでください。



LAYフローリングの貼り方は、目地を揃えず 適当にずらした乱貼りをおすすめします。 (十字目地貼りは避けてください。)

LAYフローリングの施工はゆるめ施工が ポイントです。施工時はゆるめの感覚をつ かむため、LAYセメントに同梱されている LAY-JIG (治具)をご使用ください。

品名:LAY-JIG (治具)特許取得済 規格:幅140mmタイプ(壁際以外の施工時)

幅 40mmタイプ(壁際施工時)

140mmタイプ

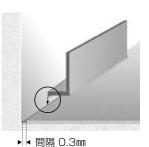
※LAY-JIGはLAYセメントに幅140mmタイプ×1、 幅40mmタイプ×1のセットが同梱されております。



40mmタイプ

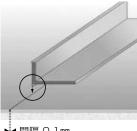
壁際施工時

LAY-JIGの0.3mm側(端部)を LAY-JIGの0.1mm側 壁に当ててください。

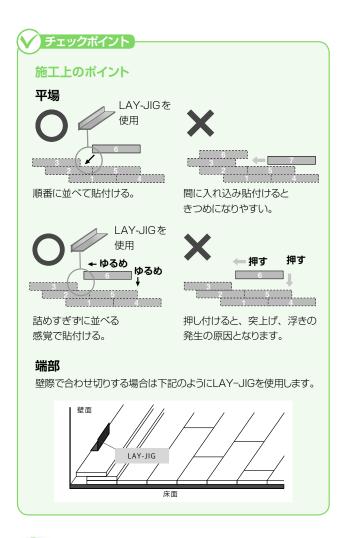


壁際以外の施工時

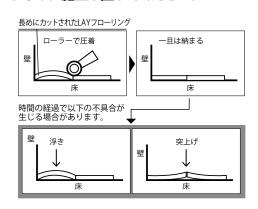
(中央部)をタイルとタイルの 間に入れてください。



▶ ◀ 間隔 O.1 mm



5 ハンドローラー等で充分に圧着してください。 圧着の際、無理に押し込まれている箇所は、 後で突上げ・浮きが発生する場合があります。 そのような場合は、いったん外して切込み、 ゆるめに施工し直してください。

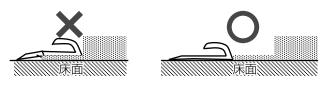


LAY見切りの施工

- ●LAY見切りは、掃き出し窓部のサッシ見切り材として開発された ものです。頻繁に踏まれる箇所へ施工されると、割れやへこみ等 が発生する場合があります。
- ●LAY見切りの施工は、LAYフローリングの施工に先立って行って ください。



1 LAY見切りを水平な箇所に取付けてください。 段差がある箇所での施工は避けてください。



2 割付け・裁断

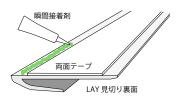


貼付ける箇所に基準線を引いてください。

サッシに沿って施工する場合は、サッシを基準としてください。 施工箇所の長さを採寸し、両端合わせて2.0mm程度(片側1.0mm)透くようにカットしてください。

3 LAY見切りに接着剤を塗布します。

先端部とテープの境界部にゼ リー状瞬間接着剤をまんべ んなく塗布してください。(点 付けで止めると、温度変化等 による浮きや剥がれ等が発生 するおそれがあります。



4 両面テープの剥離紙を剥がし、基準線に沿って 貼付け、ハンドローラー等で圧着してください。



※強く圧着しすぎるとLAY見切りが割れてしまうことがあるので、 強く押し付けないでください。

LAY見切りの施工

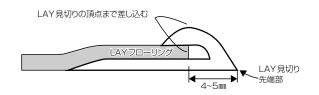


LAYフローリングの施工



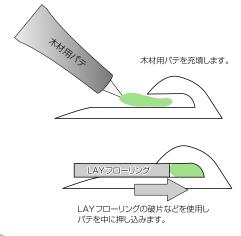
LAYフローリングは、下図のようにLAY見切りの頂点を目安に深め に差し込んでください(LAY見切り先端部から4~5mm)。 差し込みが浅いとへこみや割れの原因となります。

また無理やり差し入れると、見切りの剥がれや浮き、あるいはタイ ルの浮きなどが発生します。



※歩行の多い場所に使用される場合の施工方法

LAY見切りは、歩行量の多い場所での施工には適していませんが、 やむを得ず部屋間の見切り材等に使用する場合は、LAY見切りの飲 み込み部分手前に木材用パテを充填し、LAYフローリングの破片等 で中まで押し込んでください。



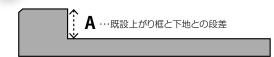
木材用パテはLAYフローリングを施工した際に、はみ出す程 度に充分量充填してください。木材用パテとLAY見切りの 間に隙間ができると効果がありません。はみ出した木材用パ テは拭き取って除去してください。

LAY框の施工

●LAY框は、LAYフローリングの上からかぶせて施工します。



既設上がり框部の処理



A が2mm以上の場合

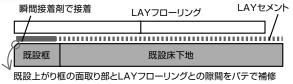
LAY框なしでLAYフローリングの施工が可能です。LAY框を使用す る場合は、既設上がり框を削り下地となる床材とのレベルを合わせ てください。

A が2mm未満の場合

LAY框をご使用ください。LAY框と下地となる床材との段差は、既 設上がり框を削りレベルと合わせるか、木材用パテで段差を緩やか なスロープ状 (15cm以上) に補修してください。

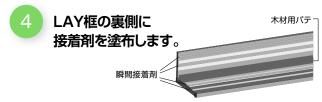
※LAY框と下地に隙間があると、衝撃による割れが発生する場合があり ます。

LAYフローリングの施工



します。

LAY框の取付け部を採寸し、壁ぎわ両端に 合わせて2.0mm程度 (片側 1.0mm) 透かすよう に割付けてください。



中央入隅部…木材用パテの塗布(4~5mm径) 周囲4箇所…ゼリー状瞬間接着剤を塗布

(注)テープの剥離紙を剥がしてから塗布してください。

LAY框を既設上がり框との間に隙間ができ ないように押さえつけながら貼付け、ハン ドローラー等で充分に圧着してください。

ゴム床タイル (プラート) の施工

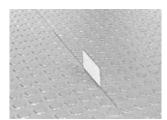
施工上の特性

- ◎ゴムで弾力性があるため、詰め加減が分かりにくく、きつめ施工になりやすいのでご注意ください。
- ◎材質がゴムのため、以下の点に注意してください。
 - 粘力があり切りにくい。 最後まで切るには、厚さの半分までカッターを入れた後に折り曲げて再度カッターで切る方が良い。
 - ●熱を加えてもやわらかくなりにくいので、下地になじみにくい。
 - ●接着剤の溶剤や下地湿気を吸収しにくい。
- ◎温度変化による寸法変化が大きいためご注意ください。

施工手順

- 1 貼り方向、取り合わせを検討の上、 割付けし基準線を設けます。(P.42参照)
- 2 基準線で仕切られた1/4面に、中心から 接着剤を塗布します。
- 3 所定の待ち時間をとり、目地ズレのないように 圧着しながら貼り広げていきます。

材質的に寸法変化が生じやすいので 荷重を加えながら貼付けます。



少しゆるめにタイルを貼付けます。 タイル間は名刺一枚程度あけるようにします。

4 壁際や柱回り、パイプ周囲などに貼るタイルは、合わせ切りで納めます。 スキ、浮きのないよう納まりよく切込み、ローラーまたはゴムハンマー等で圧着します。





切込みを行うタイルを一枚手前のタイルの上に正確にのせて合わせ切りします。

1 注意

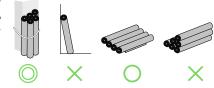
- ●切り口が汚れている時やきつめの時はカッターなどで修正します。
- ●壁際の切込みは、きつめに押込まないでください。
- ●床材を接着剤で汚すことがあるので、壁際部分は周囲全体の 切込みを行い、ゴムタイルが貼れる状態になってから下地に 接着剤を塗布するのが良いでしょう。
- 5 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、接着強度が出るまで48時間以上養生期間をとります。必要に応じて養生シートで養生してください。(P.45参照)
- ! 注意
 - ●自重でなじみにくいので、反り気味のところは接着強度が出る まで砂袋などを置いてなじませてください。

施工上の特性

- ◎ビニル床シートはビニル素材のため、以下の注意が必要です。
 - ●急激な温度変化があると寸法変化しやすくなります。特に高温時に伸びやすいためご注意願います。
 - 低温時はシートが硬くなり、巻き癖が取れにくくなりなじみが悪くなります。 トーチランプで温めながら施工するとなじみやすくなります。
- ◎巻きの状態で施工現場に搬入されますので、巻き癖が残りやすくなります。
- ◎シート状でやわらかいので、しごきに弱くなり(耐動荷重性に弱い)、膨れやたわみが生じやすくなります。
- ◎シート状で目地が少ないので、下地を密封することになります。
 下地の湿気が逃げにくく、接着剤の溶剤も揮発しにくいため、膨れが現れやすくなります。
- ○下地水分率が『グレードIIa(8~10%)』の場合は耐湿工法を取ります。使用接着剤はウレタン・エポキシ樹脂系接着剤を使用します。また水がかかる可能性がある場合は、端部処理も重要になります。詳細は『ビニル床シートの施工/耐水工法(P.74~)』をご参照ください。

■ 運搬・保管上のご注意

●製品は梱包をとかずに、平坦な場所にまっすぐに立てて保管します。ななめに立てかけると、角に集中荷重がかかり変形することがあります。ロープなどで倒れないようしっかりと固定してください。重量物なので、転倒は事故や器物破損の原因となります。立てて保管することができない場合は平らな場所に並べておき、歯止めをしてください。(長期間寝かせた状態で保管すると、床材が変形することがあります。)



●長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水などによる水濡れは避けてください。 変形・変退色・変質の原因となります。

施工手順

- 1 下地が強固で、平滑なことを確認し、 ワックスや汚れは除去します。 隙間や段差等は補修します。
- 2 貼付け方向・取合わせを検討の上、割付けし、 割付けに基づいて若干長め(約10cm)に 粗切りします。
 - ●取合わせ、継ぎ目の位置に注意します。
 - ●幅なりのままで貼ると、端部が傷んでいたり、直線が出ていない場合があります。必ずエッジトリマーで耳落としをしてください。



[柄ものシートの割付け]

部屋の大きさより一柄余分に粗切りします。 丈継ぎのジョイントがある場合は更に一柄余分に計算し、柄の合う状態で裁断します。 厳密な柄合わせには、サンプル帳の柄マッチを一柄とします。

一柄分が16cmでも、印刷リピートはその整数倍、32cmや48cmとなることがあります。

- 3 現場の環境になじませるために、 材料を仮敷きします。
- ●特に、厚手のビニル床シート、耐動荷重性シートのような硬い材質の床シートは、 施工前に必ず仮敷きし、巻き癖を取り除いてください。



- ●ただし、下地に湿気がある場合や、長時 間の仮敷きは耳部の反りを招くおそれがあります。
- ●仮敷きしてから丈方向の切込みを入れるとより正確な裁断が行えます。



ビニル床シートは端部の反りを防ぐため、表巻きにして出荷しております。施工時にはターニングローラーを使用すると便利です。



トの

施

4

壁際は巾定規等によって部屋の出入りに 合わせて切込みます。

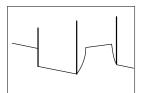
[巾定規を用いた切込み法]

●幅方向

①壁と平行にシートを置き、巾定規 をあてて確認します。

出柱など巾定規より長い障害物がある場合は右図のように切り筋を入れ、柱にかぶせるようにシートを奥へと差し込みます。(図1)

- ②巾定規は、後下がりに引き、先端にカッターナイフをあて、壁方向に力を加えながら切込みます。この時巾定規は、先端を壁に押し付けるようにし、手前側の角は壁にゆるくあてて切込んでください。(図2.3)
- ③端末の余り部分は巾定規での切 込みが困難なため、直定規をあ てて切り落とします。



図]

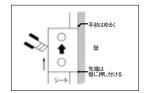


図2



壁面に印

スライド線

図4

図3

●丈方向

幅方向を切込んだシートがきちんと壁際に納まることを確認してから 大方向の切込みを行います。

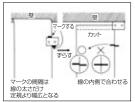
- ①シートのたるみを取り、適当な箇所を選び巾定規を使ってシートの両端部および下地に印を付けます。シート内側端部はシートを正確にずらすために、下地にシートの端に沿ってスライド線を記入します。(図4)
- ②スライド線に沿って、シートを引き下げ、壁や下地に付けた印にシートの印を合わせます。合わせる位置は図5を参考に注意して合わせてください。
- ③巾定規を壁に合わせて切込みます。(図6)

ズラすことでシートに山ができますが、この山はたわみのないようにし

ます。山を取る時には、壁近くで取

ると蛇行するため、できる限り壁か

ら遠いところで取るとよいでしょう。



-KITER

下地に印

図5

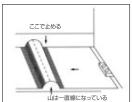


図6

④同様に反対側も行います。

[トリマーによる簡易的な方法]

やわらかいシートの場合は各種トリマーによる切込みが行えます。 巾木を傷つけない微調整の可能な工具 (パーキリなど)を使用し、 きつめの施工にならないように注意してください。

パーキリの使用方法

- ①パーキリはスライディングベースをつけた状態で使用します。
- ②調節は本体と底板 (スライディングベース取付け板) の間にできる隙間を目安として行い、シートの厚さと隙間が一致する箇所を基本位置とします。

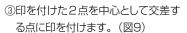


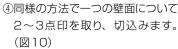
③作業者によって力の加わる位置、手首の角度が異なるので、残 材で試し切りを行うことが不可欠です。また、自分に合わせた 調節位置は、他の作業者に合わないことがあるので、その都度 調節し直してください。

[デバイダー・コンパスによる切込み法 (デバイダー法)]

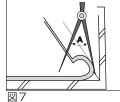
中定規が使用できない場所ではデバイダー・コンパスを使用して 切込みます。

- ①壁際に立ち上がっているシートを手前にめくり、デバイダーの足の1本を下地と壁の突付け部分にあてます。(図7)
- ます。(図/) ②シートに2点印を付けます。 (図8)





ただし、壁の曲がり方によっては点の数を増やす必要があります。



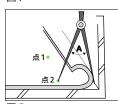


図8





[その他の切込み]

排水パイプや円柱の周囲などは、高い技術を要します。型紙を使用して施工すると効果的です。

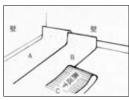
エンボスなど表面の凹凸があるシートでのトリマーなどによる切込 みは難しく、綺麗に仕上がらないことがあります。可能な限り切込 みを行ってください。

施工面積、シートの種類に応じた方法で接 着剤を塗布します。

- ●長さ5m未満の室内で は、周囲を先に切込んで から、幅方向にシートを 折り返し、半分ずつ接着 剤を塗布します。
 - ※切込み後の長手折返し を行うと、巻き縮みが 発生し、けがき位置に 誤差が生じることがあり ます。
- ●大面積フロアでは、幅方 向のみの切込みを行い、 丈方向の壁際手前約 1 m を残して先に接着剤を塗 布します。



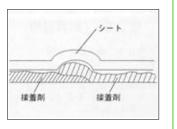
観音開き (幅折り返し)



長手折り返し

注意

●やわらかいシートの場合、 二重塗りした接着剤の重 なる部分に盛り上がりが できることがあります。 ご注意ください。



接着剤の貼付け可能時間内にシートを貼付 け、圧着時間内にローラーをかけて圧着・ エア抜きします。

- ●貼付け可能時間内にタイミ ングよくシートを貼付け、し ごき板でエアー抜きをして から、幅継ぎ部の裁ち納め をし、圧着時間内にローラー を掛けます。
- ●ローラー掛けが済んだら、 空気だまりをしごき板で目 地の方向に押出します。



※空気だまりは下地湿気により、膨れの原因となりやすいので、ど んなに小さくても、必ず空気だまりを追い出してください。

接合部は落し込みなどを用い、 けがいてからカットします。



- ●継ぎ目できつめの施工をした時、納まりが悪く感じたが、ハン ドローラで圧着をすると一応納まった様に見える場合がありま す。後日その箇所は突上がるおそれがあります。きつめに施 工し、ジョイントに反りが見られた場合は、砂袋等により荷重 を掛け養生してください。ただし執拗な圧着は肝心なジョイン ト部の接着剤を押し退けてしまい接着不良となるおそれがあり ますので注意が必要です。
- 接着剤などによる汚れや不備な点がないか を確認し、接着強度が出るまで24時間以上 養生期間をとります。
- シートの種類や施工環境に応じて、 継目処理を行います。
- ●継目処理の種類と施工方法はP.62~をご参照ください。
- 製品ごとに継目処理の種類は決まっています。詳細は「東リ総合」 カタログ」もしくは弊社サンプル帳をご覧ください。
- ●完全な継目処理をすると後日の目地スキを防ぐことができます。 また、薬品液類などが目地から下地に回るのも防ぎます。
- **10)汚れや不備な点がないかを確認し、継目処** 理剤が硬化するまで養生します。必要に応 じて養生シートを使用してください。 (P.45参照)

メモ

こんな時どうする?

◎ローラー掛けを行った後、いくつかの膨れが残ってし

くし目の方向から、空気が逃げる方向を確認し、 シートの端に近い方向から、ローラー掛けを行います。

◎仮敷きできる広い場所がない。

粗切りをしてから、長い床シートを下にして短い床シー トを順次重ねて敷き伸ばします。

施



ビニル床タイル、ビニル床シートの初期メンテナンスに関して

ビニル床タイル・ビニル床シートの 初期メンテナンスについて

新しくビニル系床材が施工されたときは、床材表面 に施工時の汚れ、初期汚れ防止のための製造時の ワックス、可塑剤等が付着していることがあります。 最初のメンテナンスを行う前に必ず専用のクリー ナーで洗浄してください。

洗浄することにより、新しく塗布する樹脂ワックス の皮膜がタイルによく密着するようになります。

複層ビニル床タイルの初期メンテナンス

一般的に複層ビニル床タイルは、アクリル樹脂系 ワックスの密着性が弱いため、施工後、養生期 間をおいてから青パッドと洗浄剤を用いてポリッ シャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックスを塗 布してください。なお、ニュー FB ワックス、U ワッ クス、ツヤノンワックス (抗菌) は密着性に優れて いますので、よりご安心いただけます。

求める空間のイメージに合わせて、ワックスを お選びいただけます。

〈低光沢タイプ〉



ツヤノンワックス (抗菌)光沢を抑えた、マットな仕上げ 木や石の素材の表情を求めるときには、低光沢 (マット)に仕上るツヤノンワックス (抗菌)がおす すめです。

〈高光沢タイプ〉



リワックス 光沢仕上げ

磨かれた石材など光沢ある表情を求めるときは高 光沢タイプのUワックス等がおすすめです。



東リホームページでは、 ツヤノンワックス (抗菌)を 詳しくご紹介しております。



NWシリーズにおける 引渡し前クリーニングについての

NWシリーズは一般のシートやタイルと異なり、養 生後、ワックス塗布を行いません。引渡し前には、 以下のクリーニングを行ってください。

1. 施工時に発生したチリやホコリをきれいに取り 除いてください。

モップやダスタークロス (不織布) 等を使用し、堆積した チリやホコリをしっかり取り除いてください。清掃の際は モップをこまめに洗浄し、モップに付着した汚れをきちん と取り除いてください。

モップが汚れていると、吸い込んだ汚水が床面に塗り広 がることがあります。

最後に水を絞ったきれいなモップで拭上げてください。

2. 汚れが残る場合は洗浄剤を使用し、ポリッシャー または、自動床面洗浄機で洗浄してください。

チリやホコリの量が多い場合、モップでの水拭き清掃だ けでは汚れが除去しきれない場合があります。汚れが除 去できない場合は、洗浄剤を使用し、ポリッシャーや自 動床面洗浄機で洗浄願います。

洗浄時に発生した汚水は床面に残さず、水を絞ったきれ いなモップで拭上げてください。

3. 清掃後は養生をお願いします。

「NWシリーズのメンテナンス」はP.128に 掲載しておりますのでご参照ください。

熱風溶接工法

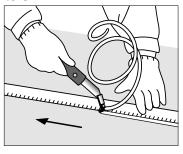
1) 前養生

接着剤が充分に乾燥するまで (24時間以上)養生してから溶接作業を行います。

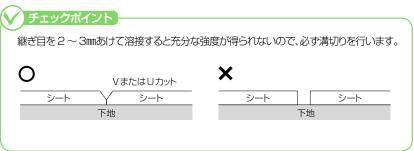
2) 溶接棒の用意

必ず床材ごとの専用溶接棒を使用してください。事前に使用分の長さに切っておきます。

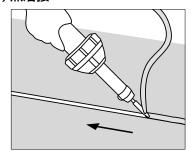
3) 溝切り



継ぎ目は、シートの厚みの1/2~2/3程度をVカットまたはUカットします。



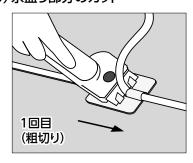
4) 熱溶接



溶接機を使用し、専用溶接棒を熱溶接します。 温度に注意し、ノズル先端に圧力をかけて溶接を行います。

スピードを控え目にして双方のシートに確実に均等に熱と 力が加わるようにしてください。

5) 余盛り部分のカット



余盛り部分をスペーサーを使用しスパトラナイフなどでカットし、 充分に冷えてから仕上げカットを行います。

一度にカットすると溶接棒のやせが生じ、きれいに仕上りません。

NWシリーズの専用溶接棒は一般ビニル床シート用溶接棒に比べ固めになっています。 熱風溶接後の溶接棒が温かいうちにカットを行ってください。

6) 仕上げカット

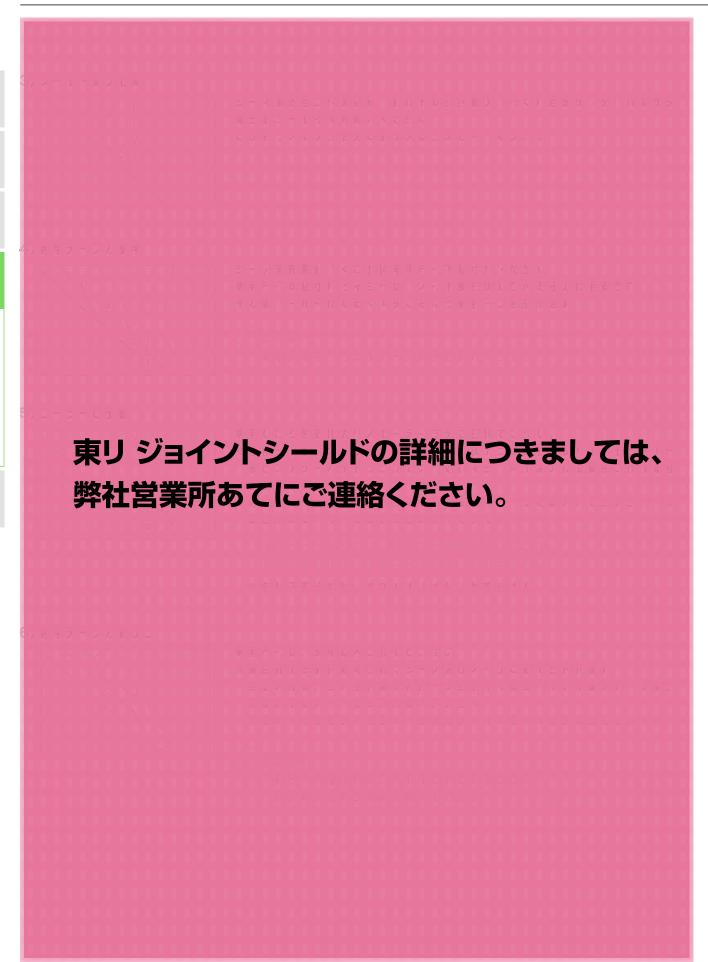


仕上げカット

継目処理 - 東リ ジョイントシールド -

東リジョイントシールドの詳細につきましては、

弊社営業所あてにご連絡ください。



継目処理 - 東リ ジョイントシールド -

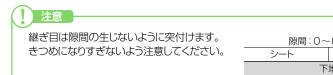
東リジョイントシールドの詳細につきましては、 弊社営業所あてにご連絡ください。

継目処理 -シーム液・アロンアルフアⅡなど-

【シーム液・アロンアルフアⅡなど瞬間接着剤による方法】

1)前養生

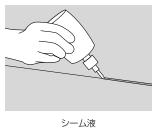
接着剤が充分に乾燥するまで (24時間以上)養生してから作業を行います。継ぎ目部に接着剤・油・ホコリなどの汚れがある場合は必ず除去してください。



2)シーム液の準備

シーム液をシームボトルに注入します。注入前にシーム液をよく振り、液を攪拌してください。 シーム液には、溶剤が含まれており、シートの表面にこぼすと変質することがあります。 また、シーム処理時にこぼれた時には直ちにウエスやティッシュで拭取ってください。

3) シーム液・アロンアルフアⅡの充填



シーム液をシートに充填します。





硬化促進剤



アロンアルフアⅡ

アロンアルフアIIを使用する時は、 硬化促進剤を塗布してください。 所定の注入器から硬化促進剤→溶接液の順に 均一に注入します。

4) 養生

継目処理作業完了後、溶接液が完全に硬化するまで養生します。 養生中は触らないように注意してください。

継目処理 スーパーシーム液 -

【スーパーシーム液による方法】

1) 前養生

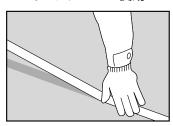
接着剤が充分に乾燥するまで(24時間以上)養生してから作業を行います。 継ぎ目部に接着剤・油・ホコリなどの汚れがある場合は必ず除去してください。

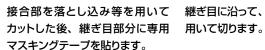
継ぎ目部は、落とし込みにより均一な隙間に仕上げてください (隙間:0~0.2mm)。

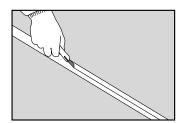
継ぎ目部の仕上げがテーパー・逆テーパーになっていたり、O.2mm以上の隙 間になっていると充分な強度がでないことがあります。

隙間:0~0.2mm		
シート	シート	
下地		

2) マスキングテープの使用





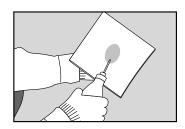


継ぎ目に沿って、カッターなどを

※マスキングテープは必ず専用マ スキングテープを使用してくだ さい。他のマスキングテープを 使うと継ぎ目部分の表面が汚れ るおそれがあります。

3)スーパーシーム液の準備

スーパーシーム液をノズル容器に移します。液量を容器の3分の2程度にとどめると、作業性がよくなります。 液は、床材の上にこぼさないように注意してください。



空気抜き

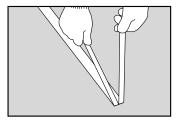
注入する前にノズルを上にしてノズル内の空気を出します。 空気抜きをする場合にノズル内のシーム液が吹き出すおそれがあり ますので、ノズル先端部分を布等で押さえてください。

※この作業を怠ると多量の液がこぼれ出るおそれがあります。

4) スーパーシーム液の充填



ノズルを継ぎ目に差込み、ノズル の先端が下地に当たっていること 分してから、専用マスキングテー を確認します。液が漏れないよう に注意しながら、継ぎ目部に液が 充分行き渡るようにゆっくり注入し てください。



スーパーシーム液注入後、約10 プを除去します。 ハンドローラー で継ぎ目を圧着します。

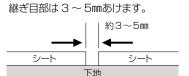
継目処理 -NSシール・エポキシパテなど-

シール剤による方法

1) 前養生

接着剤が充分に乾燥するまで (24時間以上)養生してから 作業を行います。

継ぎ目部が汚れている場合は必ず除去してください。



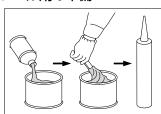
2) マスキングテープの使用



マスキングテープで継ぎ目部分の周囲を貼り養生します。

※継ぎ目部分ギリギリに貼ると、養生テープを剥がす際にパテやシール剤を 一緒に持ち上げる可能性があるので要注意。

3) シール剤の準備



NSシールまたはエポキシパテを色が均一になるまで混合攪拌し、 カートリッジに注入します。

※ NS シールを使用する時、温度の高い場合や下地水分の高い部屋では、 硬化剤の量を2~3割少なくしてください。

カートリッジ内のエアーを抜きます。 カートリッジをコーキングガンに装着し、ノズルの先端を斜めにカットします。

4) シール剤の充填



コーキングガンで継ぎ目部に 充填します。



充填後、すぐに仕上げ用の ヘラで表面を平滑に 仕上げます。



平滑に仕上げた後、 速やかにマスキングテープを 除去してください。

注意

コーキングガンのカートリッジ内にエアーが残っている時

① 釣糸をはさんでピストンを押 し込み、ピストンが液面につ いた時点で釣糸を抜きます。



② カッターであらか ピストン じめ液面付近を 切っておきます。



5) 養生

継目処理作業完了後、シール剤が完全に硬化するまで(24時間)養生します。 養生中は触らないように注意してください。実際に使用できるのは2~3日後になります。

ビニル床シートの施工/階段(ひな段式)の施工

施工上の特性

階段の一般工法

ササラ巾木 P.109 蹴上げ アグラスリップ 踏み面

1 粗切り



蹴上げの寸法を計り、実寸より若 干大きめに粗切りします。 カット した材料が混ざらないように、貼 付ける順番に並べておくと良いで しょう。

2 取合い部・蹴上げ



床シートの両サイドをけがき カットします。そのシートを蹴 上げに仮止めし、取合い部を 曲げて上端部を仕上げカット します。シートが硬い場合は、 ヒートガンなどで温めてくださ い。

3 蹴上げ仕上げ



上部はノンスリップ金物にのみ 込まれるように直定規で裁断し ます。

裁断後、ハンドローラーで入念 に圧着します。

4 ノンスリップ取付け

5 踏み面



蹴込みに沿ってけがき、裁断し、 両サイドは蹴込みと同様にけが き、裁断します。 ノンスリップ 部は、落し込みで裁断します。

6 接着剤塗布、貼付け

階段の巻上げ工法

ササラ巾木 P.109 取付け 踏み面 蹴上げ

1 ノンスリップ取付け

ノンスリップと蹴込みの間に確実に床材の厚さ以上の隙間をあけて、ノンスリップを取付けます。

2 踏み面

シートを階段の幅にカットしたものをノンスリップ金物に突付けます。

3 取合い部・蹴上げ



取合い部を曲げて、シート上端 部をノンスリップ金物にのみ込ま れるようにけがいて裁断します。 シートが硬い場合はヒートガンな どで温めてください。

4 接着



蹴上げ上端をノンスリップ金物に のみ込ませてローラーで圧着し ます。

東リアンダーレイシート上への施工

アンダーレイシート、NS アンダーレイシート (タイルカーペット用アンダーレイシート: P.92 参照)

施工上の特性

- ◎アンダーレイシート、NSアンダーレイシートが使用できない製品があります。使用可否に関しましては東リ総合カタログをご覧ください。
- ◎アンダーレイシートの上材としてビニル床タイルを施工することはできません。
- ○東リアンダーレイシートを用いることにより優れた衝撃吸収性が得られます。
- ◎アンダーレイシートに遮音性はありません。音の侵入や漏れを防ぐことはできません。
- ◎ NS アンダーレイシートは遮音性が高く、歩行音や落下音が階下に伝わるのを軽減します。
- ○NSアンダーレイシートは凹み跡が回復しにくいため、静荷重・動荷重が求められる部位への施工はできません。
- アンダーレイシートとNSアンダーレイシートでは規格や指定接着剤、表裏の仕様が異なりますのでご注意ください。

アンダーレイシート
東リマークが印刷されている面を裏面として施工してください。

■規格

幅×長さ1820mm×18m	
全厚4.5mm	
梱包18m/巻 (出荷は巻単位となります。)	

■工法

工法名	下地	接着剤
一般工法	乾燥したモルタル・コンクリート下地	US セメント・東リ低臭 US セメント・US 200
耐湿工法	湿気のおそれのあるモルタル・コンクリート下地	USセメント・東リ低臭USセメント・US 200

NSアンダーレイシート 銀色面を表面(仕上げ材側)として施工してください。

■規格

幅×長さ950mm×20m	
全厚2.3mm	
梱包20m/巻 (出荷は巻単位となります。)	

■工法

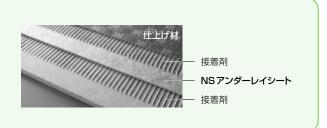
		
工法名	下地	接着剤
一般工法	乾燥したモルタル・コンクリート下地	USセメント・東リ低臭USセメント・US 200
耐湿工法	湿気のおそれのあるモルタル・コンクリート下地	USセメント
防水下地	ウレタン塗膜防水下地	USセメント

※タイルカーペット用アンダーレイシートは東リマークが印刷されている面が表面となります。詳細はP.92をご参照ください。



チェックポイント

アンダーレイシート、 NSアンダーレイシートは 上下面とも同じ接着剤を ご使用ください。



施工手順(アンダーレイシート・NS アンダーレイシート)

アンダーレイシートの施工

シートを割付けに基づいて若干長め(約10cm)に 粗切りします。接合部は重ね切りをするために2cm 程度の重ねしろを取っておきます。

アンダーレイシート

東リマークが印刷されている面を裏面として 施工してください。

NSアンダーレイシート

施工の際は、銀色面を表面(仕上げ材側)として施工してください。

■ ×ŧ

下地の平滑性が悪いと、アンダーレイシートを敷いてもその影響が施工後の床仕上げ材表面に現れることがあります。

② 敷込みはリバース施工を原則とします。周囲を パーキリ等で切込んでから、接着剤を塗布します。 シート上下面とも同じ接着剤を使用し、溶剤による 膨れに注意して施工します。(塗布量、待ち時間 に注意してください。)



③ 接合部を重ね切りします。



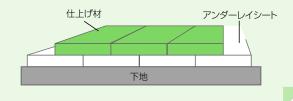
④ 重ね切り後すぐにローラー掛けを行い、目地から 充分にエアー抜きしてください。接着剤硬化のた めに約24時間の養生が必要です。

ビニル床シートの施工

1 アンダーレイシートの施工後、24時間以上養生 してからビニル床シートを施工します。



ビニル床シートのジョイントと、アンダーレイシートのジョイントが重ならないようにします。



②ビニル床シートの施工には床下地に使用した接着 剤と同じ接着剤を使用します。 アンダーレイシートは吸水性のない下地となり ます。塗布量・硬化時間には充分注意してください。

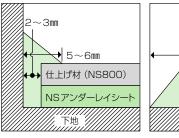
他はビニル床シート施工方法に準じます。

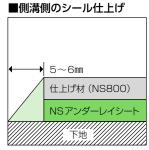
■ メモ

アンダーレイシート上に接着剤を塗布する際、両面くし目ご ての目が細かい側を使用することをおすすめします。

③ NSアンダーレイシートの端部処理はNSシールII を以下のように充填してください。

■壁面側のシール仕上げ





施工上の注意

- ◎接着剤で冒されるようなプラスター・ペンキ・張物下地でないこと。
- ◎床面に対して垂直に接続し、その垂直面は蛇行していないこと。
- ◎面を取って仕上げる場合は、面木(サニタリーコーナー)を貼付けるか、面の形状、精度、 および引通しよく下地が造られていること。
- ◎立上げ天端に見切りをとる場合は、水平に引通しよく調整してあること。

施工手順

1 巻上げに必要な長さを 残して、ビニル床シー トを施工します。



2 床面を全て納めてか ら巻上げ部分の壁 に接着剤を塗布しま す。(大面積の場合) ※小面積の施工では壁、床 に接着剤を塗布し、床面か ら巻上げ面を一度に貼付



🔞 巻上げ部分のシートを 巻上げて貼付けます。

けます。



- ●シートが硬くて巻上がらない時には、ドライヤー などで温めてやわらかくしながら巻上げます。 コーナーから浮き上がらないようにコーナー ローラーなどで入念に圧着してください。
- ●巻上げ高さ5~10cm。必要に応じて面木 を使用します。



(サニタリーコーナー)



メモ

人り巾木

床材

4 出隅、入隅の巻上げ

入り巾木の場合は取合い部分まで突付けて納めます。入り巾木

でない場合は、巻上げ上部にプチモール、または市販の見切

り材を取付けるか、天端を NS シール等でシールし仕上げます。

出隅・入隅部分に合わせて シートを切込みます。出隅

プチモールを使用した納まり

巻上げ施工において、特に出隅部分の施工がむずかしく、

充分に時間をかけて、慎重に施工しなければなりません。

を継ぎ足します。 継ぎ目部分は東リ NS シールま たは専用溶接棒で処理します。

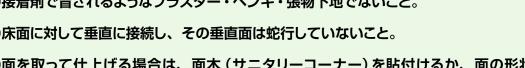
部分は左記のように別シート

チェックポイント

シート裏面をリカッター等で少し浅め にカットして折曲げやすくするときれい に仕上ります。折曲げは、シート裏面 を加温しながら行ってください。加温 せずに無理に曲げると折曲げ部の白化 や割れが生じるおそれがあります。







72 TOL

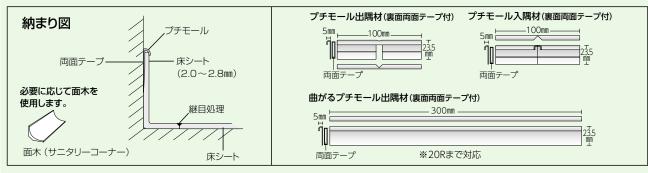
プチモールを用いたビニル床シートの巻上げ施工

プチモール

ビニル床シート巻上げ施工用天端仕上げ材。 R出隅も対応。巻上げ施工時にシート床材の 小口を美しく仕上げます。

下地	接着剤
石膏ボード	両面テープ
珪カル板・乾燥したモルタル・ コンクリート・合板	両面テープとビス・釘の併用
継目処理	瞬間接着剤





プチモール 施工手順

墨出し

巻上げ施工の仕上り高さ位置に、水平の墨出しを行います。上部に 壁紙を施工する場合は、先に墨線部分まで貼付けを行います。

プチモールの貼付け

巻上げ高さ天端の墨線に従って、プチ モールを貼付けていきます。接着は両 面テープが基本になりますが、下地に よって接着不良が生じる場合や強固な接 着を要する場合は、ビス·釘、接着剤(CR セメント) 等を併用します。



継ぎ目部の目地スキや突上げを防止するため、プチモール端部 裏面に瞬間接着剤を高さ方向に2列塗布してください。

※瞬間接着剤はゼリー状をおすすめします。

巻上げたシートの施工

巻上げ部へシート貼付け後、プチモー ルのシート呑込み部下端に沿って、フッ クカッター等を用い隙間が生じないよう に切込みます。



※落とし込みを用いると直線が出やすくなります。

圧着・継目処理

養生

床と壁面の取り合い部分は隅用のコー ナーローラー等を用い圧着します。



巻上げ部シート表面はハンドローラーやコ ルク・繊維系の素材を巻いたシゴキ板等に より、圧着と同時にエア抜きを行います。



曲がるプチモール出隅材 施工手順

墨出し

巻上げ施工の仕上り高さ位置に、水平の墨出しを行います。上部に 壁紙を施工する場合は、先に墨線部分まで貼付けを行います。

曲がるプチモールの貼付け

曲がるプチモール出隅材裏面の剥離紙を 剥がし、瞬間接着剤を両面テープの上部 に沿って塗布してください。曲がるプチ モール出隅材の両端部にも、縦に瞬間接 着剤を入れてください。





巻上げ高さ天端の取付け線に沿って曲が るプチモール出隅材を貼付けます。この 時、呑込み部に入っている潰れ防止材(丸 棒)を外さないでください。



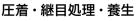
R部のシート施工

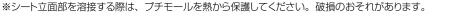
シートを巻上げ施工し、R出隅部にシート を貼付ける直前に潰れ防止材 (丸棒)を外 してください。



曲がるプチモールに差込むようにシートを 貼付けてください。最後にジョイント部を 溶接またはシールで仕上げます。







ビニル床シートの施工 / 耐水工法(簡易防水工法)

プールサイド・トイレ・厨房など、常時水のかかる可能性のある場所や、冷凍食品売り場など保冷機からの水漏れの予想される場所では、シート裏面に水がまわらないようにするために継ぎ目部や端部を接合し床を一体化する必要があります。 あくまでも簡易的なので、多量の水や長期間にわたっての防水効果を保証するものではありません。

施工上の特性

耐水工法は以下の方法で施工します。

ビニル床シート: 耐湿工法

継 目 処 理:溶接工法orシール処理…P.62、P.68参照

端 部 処 理:A東JNSシールまたは東JNSシールIIによる耐水コーキング法

B巻上げ工法…P.72参照

C床材·巾木施工後のパテ処理による工法

施工手順

A.東リNSシールまたは東リNSシールIIによる 耐水コーキング法 (簡易防水工法)

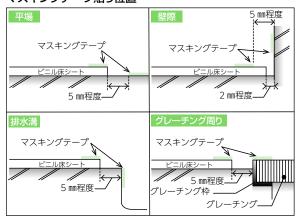
● 端部のカット

平場・側溝は5mm程度、壁際は2mm程度の隙間があくようにシートの余剰分をカットします。

② マスキングテープを貼る

塗布表面のゴミ、ホコリなどを除去し、水分のないことを確認 し以下のようにマスキングテープを貼ります。

マスキングテープ貼り位置



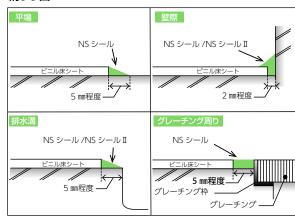
3 シール剤の充填

- 端部にシール剤を充填します。充填後、すぐに仕上用のヘラで表面を平滑に仕上げます。
- ※市販の金属製スプーンを用いてもよいです。
- ※ NS シールの使用方法は P.68 をご参照ください。
- ※ NS シールIIなど、1 液型のシール剤は混合攪拌の必要はありません。
- ※ NS シールII使用前には、銀紙を剥がしてから使用してください。

4 マスキングテープの除去および養生

表面仕上げ後、マスキングテープを取り除きます。シール箇所には24時間以上触れないようにしてください。シールが硬化するまで2~3日の養生期間をとってください。

納まり図





パイプや電線取出し口などとの取合い部もコーキングします。 仕上り面が見苦しいので金ぶたをかぶせます。

施工手順

B. ビニル床シート巻上げ耐水工法

巻上げ工法はP.72に掲載しておりますので、 ご参照ください。

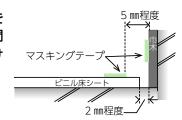
参上げに必要な面積を残して、ビニル床シートを 耐湿工法で施工します。

熱溶接する場合、シートは突付けします。NSシールで処理する場合はあらかじめ継ぎ目部を3~5mm空けて施工します。

- ② 床面を全て納めてから巻上げ部分の床と壁に接着 剤を塗布します。巻上げ部分は、後から接着剤を 塗布しますので、必要な面積分だけ残しておきます。
- る 巻上げ部分のシートを巻上げて貼付けます。
- ④ 接着剤が硬化した後 (約24時間後)熱溶接またはNSシールなどで継目処理します。
- ⑤ 出隅、入隅も熱溶接またはNSシールなどで 継目処理します。

施工手順

- C. 床材・巾木施工後のパテ処理による工法
 - ○床材・巾木を通常の耐湿工法で仕上げた後に、 接触部をパテ埋めします。
 - ◎防水性に優れ、後からの補修も簡易にできます。
- 1 Rナシ巾木を先付け施工します。 ビニル床シートおよび巾木を耐湿工法で施工します。 (シートは巾木から2mm程離して納めます。)
- ② マスキングテープを シートと巾木に隙間 約5mm残して貼付け ます。



- ③ NSシール・NSシールII・エポキシパテにて端部 処理をします。エポキシパテおよびNSシールは A液とB液を混合し、色が均一になるまで攪拌し、 カートリッジに注入します。
- 4 カートリッジの端部を カットし、充填します。



 充填後、すぐに仕上げ用 のヘラで表面を平滑に仕 上げます。



(i) マスキングテープを取除き、24時間以上 養生します。

屋外(プールサイド、マンション屋上への施工)

(半屋外(マンション開放廊下への施工)

施工手順

注意

- ●集合住宅の開放廊下、屋上、プールサイドでは、雨水やプールの水などが床材の裏面に回ると、床材に膨れ、剥がれなどの不具合が 発生する可能性がありますので継目処理、端部処理を適切に行ってください。
- ●水捌け用のV字溝、および段差等は、事前に下地補修材等で補修し、できるだけ表面を平滑にします。
- ●クラック防止の誘発目地やブロック状のコンクリートの目地に柔らかい目地材が詰められていることがありますが、セメント系の下地補修 材での補修はできないので、同質の材料かウレタン系のコーキング剤でレベルを出してください。ただし、後日その部分に凹みや膨れ が発生する可能性がありますが、現行の技術では凹みや膨れを解消する方法はありません。
- ●集合住宅の屋上やプールサイドにおける高さの小さな段差は、下地補修材で緩やかなスロープをつけて調整します。
- ●プールサイドへの施工時には、プールあるいは下地より湿気が上がってくる場合があるので、下地湿気のないことを充分に確認の上施 工を行なってください。また、プールの構造によっては、プールの水を抜いて施工する必要があります。
- ●水勾配は2/100~3/100程度必要です。
- ●すり鉢状の排水口など、下地が平面で仕上がっていない下地には施工できません。
- NSシートは製法上の理由により、柄合わせはできません。ご了承ください。
- NSシートの目地はできるだけ少なくなるように、また端部に細かいカットが入らないように割付けてください。
- ●シートは耳部どおしでジョイントしてください。耳部と中央部とのジョイントでは色違いが生じることがあります。

メモ

シートは耐水工法で施工します。 (詳細はP.58「ビニル床シートの施工」、 P.74 「耐水工法」をご参照ください。)

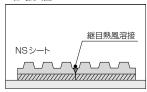
- ・下地の調整
- ・敷き込み、圧着
- ・割付け、粗切り
- ·継目処理、端部処理
- ・仮敷き、裁断
- · 養生

接着剤の塗布

継目処理

NSシートは専用溶接棒を使用します。

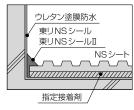
A部 拡大図



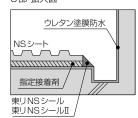
端部処理

東リNSシール・NSシールIIで端部を充填します。

B部 拡大図

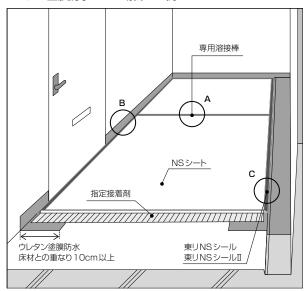


C部 拡大図



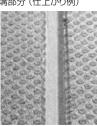
納まり図(集合住宅開放廊下)

ウレタン塗膜防水がある場合の一例



※上記納まり図はイメージです。実際の納まりと異なる場合があります。

溝部分(仕上がり例)

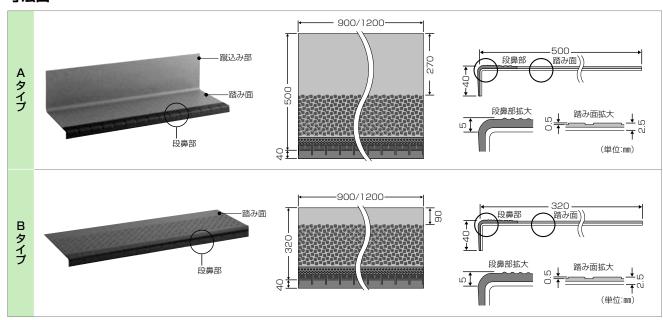


排水溝廻り(仕上がり例)



東リ NSステップ 800

寸法図



下地材	下地処理
モルタル・ コンクリート下地	下地水分指標が10%以下になるよう充分に乾燥させてください。 粉ふきが見られる場合はサンダー等で削り取るか、シーラー処理を行ってください。
平鋼板下地	油汚れやサビを落とし下地をきれいにしてください。サビが酷い場合は、サビを落とした後に防サビ処理を行ってください。
塗料下地	塗料にはアクリル・ウレタン・エポキシ等、樹脂の品種が多種あり、接着剤との組み合わせで接着強度が 出ないことがあります。施工前に支障のない部位で試験貼りし、塗料との接着性をご確認ください。また、 塗料の剥がれがないこともご確認ください。
階段の蹴込み角度	階段の蹴込み角度は一般的には90°より小さくなっています。 対応角度は75°~90°です。
	下地の種類に合わせて、適切な下地処理を行ってください。

施工手順

● 下地の確認・清掃

砂やホコリなどを除去し、下地が平滑で乾燥していることを 確認してください。

② 最下段、蹴込みシートの裁断

最下段の階段蹴込み面の幅·高さを測定し、蹴込みシートを 裁断します。

Aタイプ

裁断したシートは蹴込みシートとして使用します。残った材料は踊り場や最上段で使用します。

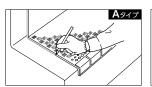
Bタイプ

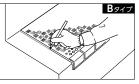
貼付ける場合にはNSシート (NS800など) をご使用ください。

❸ 東リNSステップ800の裁断

階段の幅寸法を測定し、東リNSシール仕上げ代として5~6mm程度の隙間が空く寸法を仕上げ寸法とします。直定規などを用いて仕上げ寸法に裁断します。

所定の仕上げ寸法に裁断後、東リNSステップ800を施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆などで仕上り寸法をけがきます。



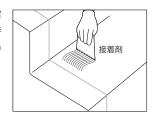


- ・Aタイプは踏み面、蹴込み一体型のため、下地状態によっては、東UNSステップ800が納まりにくい場合があります。
- ・下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷付けない ようにしてください。
- ・端部処理は全周行うことを標準工法としております。

4 接着剤の塗布

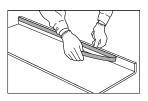
踏み面および、蹴込み面に指 定接着剤を塗布し、所定の待 ち時間 (10~20分)を取り ます。

※待ち時間が適切でない場合、 段鼻部に浮きが生じます。



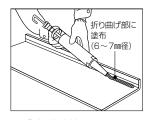
⑤ 両面テープ剥離紙の剥がし

東JNSステップ800の裏面 に貼付けてある両面テープ の剥離紙を剥がします。(尚、 両面テープの剥離紙は、東リ NSステップ800貼付け後に 剥がす手順もあるので任意 で行ってください。)



⑥ 段鼻裏面への接着剤 東リステップ用 セメント (カートリッジ) の充填

右図のように東リNSステッ プ800裏面の折り曲げ部に 東リステップ用セメント(カー トリッジ) を、コーキングガ ンで6~7㎜径の太さで充 填します。



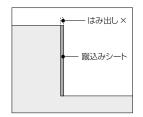
東リステップ用セメント (カートリッジ) 標準充填量

900mmタイプ	7段/本
1200mmタイプ	5段/本

※東リステップ用セメント(カートリッジ)を塗布しない、もし くは塗布量が不充分な場合、段鼻部に亀裂や浮きがおこる場 合がありますので必ず充填してください。

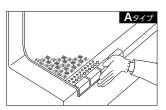
🕜 最下段、蹴込み面への接着剤の塗布 および、蹴込みシートの貼付け

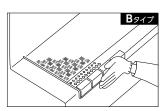
蹴込み面に、予め裁断してお いた蹴込みシートを貼付け圧着 します。その際、シートが蹴込 み面上端部からはみ出さない ように注意します。



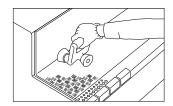
❸ 東リNSステップ800の貼付け

右図のように東リNSス テップ800折り曲げ部を 階段の曲がり部分にあて がい、折り曲げ部に空洞 が生じないように注意して 貼付けます。

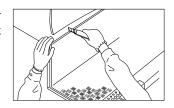




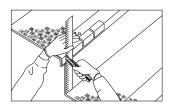
蹴込み面の貼付けは、コー ナーローラーなどで折り癖 を付けて納めます。

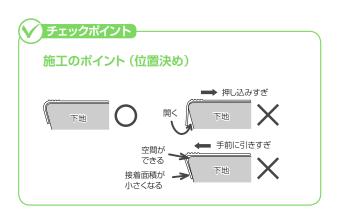


その際、シートが蹴込み 面上端部からはみ出した ものは、カットします。



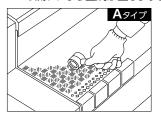
尚、蹴込み面両端部と段 鼻両端部でズレがある場 合は、直線にカットします。

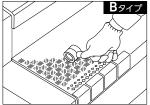




9 圧着

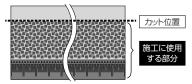
踏み面および、蹴込み面などをハンドローラーで圧着してください。東リステップ用セメント (カートリッジ)を塗布した折曲げ部は圧着がすぎないように注意してください。(接着剤の流れにより空洞が生じます。)





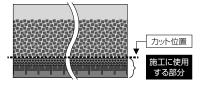
10 最上段部の納め

①踏み面で溶接を行う施工方法 (一般的な工法)



東リNSステップ800の踏み面部分の凹凸端部でカットして階段踊り場や共用廊下のNSシートと溶接します。

②段鼻部で溶接を行う施工方法



東リNSステップ800の段鼻の色の切り替わり部分でカットして階段の踊り場や共用廊下のNSシートと溶接します。

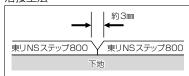
👊 継目処理

東JNSステップ800を2枚以上並べて貼付ける場合は、下 図のように溝を設け、東JNSシールまたは専用溶接棒によ る継目処理を行います。(溶接工法の場合エンボスの谷部で 溶接します。)

シール工法



溶接工法

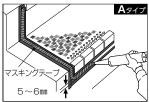


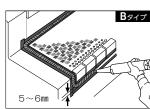
※段鼻部は東リNSシールで継目処理を行います。

(2) 端部仕上げ (端部処理剤)

東JNSステップ800の全 周を5~6㎜幅に仕上が るようにマスキングテープ で養生します。

端部処理剤をコーキング ガンにセットし、端部に充 填します。充填後、仕上 げへラを用いて仕上げ、 マスキングテープを除去し ます。

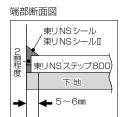


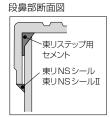


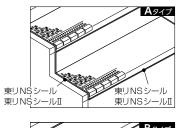
13 養生

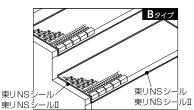
施工後、接着剤、端部処理剤が硬化するまで歩行を控えてください。(1~2日)

東リNSステップ800の踏み面周辺を端部まで仕上げる場合には、東リNSステップ800を壁より2mm程度短く裁断し、端部処理剤で下図のように仕上げます。









施工手順

(東リ NS ステップ 800 に施工する場合の例)

● NSアンダーレイシートの割付け

NSアンダーレイシートを割付け、若干長めに粗切りします。 NSアンダーレイシートは発泡構造のため、巻取り時に伸びている場合がありますので、仮敷後カットしてください。

幅継ぎの必要がない場合は、 斜め施工にならないように充 分注意してください。また、 蛇行等で余分な部分が出た 場合は、押し込まずカットを 行ってください。



※蹴上げ部分には NS アンダーレイシートを使用できません。

② 切込み

中定規・スクライバー等で採すし、切込んでください。 壁際 はスパトラナイフで当て切りしてください。 また、 壁際のカットはきつく押し込まないでください。

3 接着剤塗布

指定接着剤を塗布し、所定の待ち時間を取ります。シート貼付け後すぐにローラー掛け、エア抜きします。

※接着剤硬化の目安として気温 25℃ の場合、約 24 時間必要です。

仕上げ材 (東リNSステップ 800) の施工

基本的には東UNSステップ800の施工方法に準じます。 以下の点に注意が必要です。

蹴込みの入隅部分をコーナーローラーで浮きのない様に充分 に圧着します。

Aタイプの場合、蹴上げ部分は上段のNSアンダーレイシートの高さよりはみ出さないでください。はみ出した部分はカットしてください。

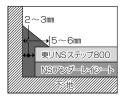




端部処理方法

端部処理は下部に空隙ができないよう下地まで充分に東リNSシールIIを充填してください。

●壁面側のシール仕上げ





NSパス

施工手順

●下地の確認

湿気のない平滑な下地であることを確認してください。凹凸がある場合は、ケレンや補修材による補修を行ってください。

② 割付け

NSパスの取付け位置に、NSパスの幅寸法(約45mm)で、排水溝いっぱいまで下地に割付け線をつけてください。

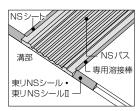


3 接着剤の塗布、貼付け

下地に指定接着剤を塗布し、所定の待ち時間を取った後、NSパスおよびNSシートを貼付け、充分に圧着してください。

4 継目処理

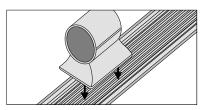
接着剤が完全に硬化した後、 NSパスとNSシートの継ぎ目 をU字カットし、NSシート用溶 接棒で熱風溶接してください。

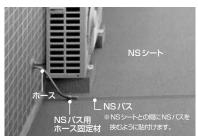


NSパス納まり図

🜀 ホース固定材の固定

同梱されている瞬間接着剤をホース固定材の裏面に塗布し、 NSパスに固定します。





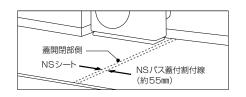
施工手順

●下地の確認

湿気のない平滑な下地であることを確認してください。凹凸がある場合は、ケレンや補修材による補修を行ってください。

2割付け

「NSパス蓋付」の取付け位置に、「NSパス蓋付」底部の幅寸法(約55mm)で、排水溝いっぱいまで下地に割付け線をつけてください。

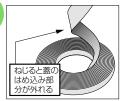


チェックポイント

「NSパス蓋付」の取出し方

「NSパス蓋付」はねじれると、 蓋部分が外れやすくなりま す。ねじれないように取出し てください。

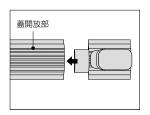




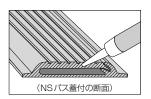
- (注)気温が低い時期はねじれないように取出しても巻き癖で蓋が外れる場合があります。
- (注)巻き癖が取れない場合はドライヤーなどで温め、巻き癖を取除いてください。

🔞 ホース固定材の取付け

①ホース固定材の取付方法 を確認してください。



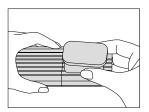
④「NSパス蓋付」の口周り (斜線部)を瞬間接着剤 で薄く塗布してください。



②取付口となる「NSパス 蓋付」の蓋部を開けて、 瞬間接着剤を塗布してく ださい。



⑤ホース固定材を差し込み、数秒間固定されるまで押し込んでください。



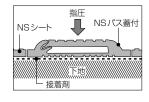
③蓋を閉じて、**○**の箇所が 瞬間接着剤で埋まってい るか確認してください。



4 接着剤の塗布、NSシートおよび「NSパス蓋付」の貼付け

下地に指定接着剤を塗布し、待ち時間を取った後、「NSパス蓋付」および2.5mm厚のNSシートを隙間ができないよう貼付けてください。

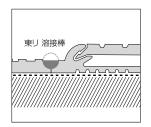
「NSパス蓋付」は指圧で、蓋部分をへこませながら底部にしっかりと接着剤が付着するように圧着してください。



- (注) 冬場で、巻き癖が取れない場合はドライヤーなどで温め、巻き癖を取り除いた上で貼付けてください。
- (注)「NSパス蓋付」の蓋部分を指で押さえる際、手袋などをはめて行ってください。

⑤ 継目処理

接着剤が充分乾燥した後、NSシートと「NSパス蓋付」の 継ぎ目に東リ溶接棒にて熱風溶接してください。(両側) 必ずUカットした上で溶接し、シート表面で余盛り部分を カットして仕上げてください。



6 端部シール処理

接着剤が完全に硬化した後、東リNSシールor東リNSシー ルIIにて端部処理を行ってください。なお「NSパス蓋付」 の排水溝側にはシール処理を施さないでください。 (排水の妨げとなります)



√ ドレインホース取付け

「NSパス蓋付用ホース固定材」はドレインホースを最大2 本まで取付けることが可能です。

「NSパス蓋付用ホース固定材」は外径18mm程度(呼び径 φ14)が最適な使用径となっています。



ドレインホース 2本差しの場合



ドレインホース 1 本差しの場合

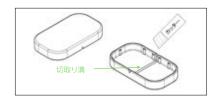
ドレインホースを 1 本差しで使用する場合、半裁した蓋を かぶせます。蓋の裏には切り取り溝があります。溝に沿っ てカッターで切取ってください。切り取り溝にカッター等 で数回切込むと蓋が半分に割れます。カットした蓋を上の 写真のようにかぶせます。



チェックポイント

写真のようにドレ インホースを横た えて挿入すると水 の流れがスムー ズになります。





詰まった場合のメンテナンス方法

「NSパス蓋付」の蓋部分を排水溝側からめくりあげ、内部をきれいに清掃してください。清掃後、蓋をNSパス本体に押し 込み、元の状態に戻してください。

(マイナスドライバーなどで傷付かないように押さえながら押し込んでください。)

(注)低温時に蓋部分をめくりあげる際、蓋部分を強く曲げると割れたり、白化する可能性があるのでご注意ください。

- 切込み

排水溝

浴室用ビニル床シート『バスナシリーズ』の施工

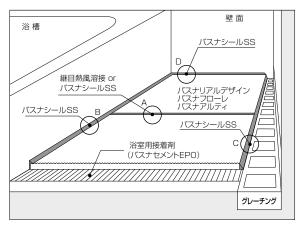
浴室のように頻繁に水を使用する場所では、床材の裏面や下地に水分が回り込むと、様々な悪い影響を及ぼす可能性があります。 継目処理や端部処理を確実に行い、裏面に水が回り込まない施工をする必要があります。

施工条件

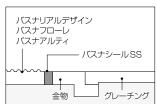
- ●モルタル・コンクリート、セラミックタイル、FRP樹脂(システムバス)への施工が可能です。石材等は種類により判断の必要があります。東リ営業所までお問合わせください。
- ●バスナシリーズは躯体への漏水を防ぐことを目的とした防水シートではありません。漏水が無いことを確認してから施工してください。漏水がある場合は必ず補修を行ってください。補修有無の判断は防水専門の業者様にお願いしてください。
- ●在来工法浴室では下地は排水溝に向かいなだらかな水勾配をモルタル、コンクリートで1/100~3/100に仕上げてください。 FRP樹脂下地(システムバス)等で勾配が取れていない場合は浴室専用の工事業者様にご相談をお願いします。水はけ性能は水勾配により変わります。窪みなどがあると水溜りができ、「ぬめり」が発生し滑りの原因にもなりますのでご注意ください。
- ●セラミックタイル下地の場合は下地補修材 (クイックレベラー等)を使用して目地を埋め平滑に下地を仕上げます。 クイックレベラーは目地部分の不陸解消のみ使用可能です。 セラミックタイル上についたクイックレベラーは「生乾き」を目処に濡れた雑巾等で拭取り、セラミックタイルの上には残さないでください。 クイックレベラーはFRP樹脂下地には使用できません。

- ●セラミックタイル下地の場合は老朽化して剥がれている、目地部分に白い付着物 (カルシウム等) があるなどの下地に問題があるケースでは下地処理が必要です。浴室専用の工事業者様にご相談をお願いします。
- FRP 樹脂下地の場合は、下地補修材 (バスナパテEPO等)を使用して目地を埋め平滑に下地を仕上げます。
- ●下地の凹凸が激しく(1mm以上)、下地補修材(クイックレベラー、 バスナパテEPO等)で目地埋めができない場合、下地材を剥離 しモルタル・コンクリートを打ち直していただくか、グラインダー 等で削り平滑に仕上げていただく必要があります。
- ●バスナリアルデザイン、バスナフローレ、バスナアルティは仮敷 後、20時間以内に施工を開始してください。
- ●施工の際は専用接着剤(バスナセメントEPO)専用端部処理剤 (バスナシールSS)を使用しシート裏面に水が回らないよう仕上げてください。
- バスナリアルデザイン、バスナフローレ、バスナアルティは異方 向の柄合わせができません。ご了承ください。

納まり図



- ●水勾配の大きな排水溝まわりは、切込みを入れるなどして処理してください。切込み部分は、継ぎ目または端部と同じ処理を行ってください。
- **分は、継ぎ目または端部と同じ処理を行ってください。**●グレーチングでは、金属部
- ●グレーチングでは、金属部 分の2~3㎜手前で切込み その隙間にシール剤を充填 してください。



バスナシールSS

継目処理

■A部 拡大図(継目熱風溶接)

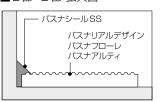


■A部 拡大図(バスナシールSS)

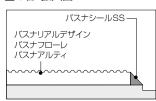


■B部·D部 拡大図

端部処理



■C部 拡大図



※バスナリアルデザインは継目熱風溶接はできません。バスナシールSSで仕上げます。

バスナフローレ・バスナアルティ施工手順

(継ぎ目: 熱風溶接工法またはバスナシール SS、端部: バスナシール SS)

施工方法

11 下地の確認 (下地調整)

バスナフローレ、バスナアルティを施工する下地としての条件に適しているかどうかチェックします。1/100~1/300程度のなだらかな勾配のある下地であることが大切です。

モルタル・コンクリート下地

- 下地湿気は、「高周波水分計HI-520-2型 (D.MODE) 620未満」を条件とします。
- 凹凸は、ケレン用具や下地補修材 (クイックレベラー等) で補修します。

セラミックタイル下地

●目地部分を下地補修材(クイックレベラー等)で埋めて平滑に仕上げます。尚、セラミックタイル上に付いた補修材は、拭き取るか、あるいはケレン用具等で取り除きます。

FRP下地

●目地等の凹凸がある場合には、バスナパテEPO等を使用して補 修します。

② 材料納入・仮敷

仮敷をして、巻き癖等を取ります。

※巻き癖等を取りやすくする為にできるだけ10℃以上の場所で仮 敷きしてください。

③ 下地の清掃

下地のホコリ、ゴミ等を除去します。

4 割付け・粗切り

できるだけ目地が少なく、水の流れを妨げないように、また端部に 細かいカットが入らないように割付けし、多少長めにカットしておきます。 輸送・保管中にシートの耳が破損している場合は、耳落としを行います。

⑤ シートのカット

全面敷込

● 壁際はシールを考慮し、3~5mm程度空くように巾定規やバースクライバー等を用いてカットします。

部分敷込

セラミックタイル下地やFRP下地にシートを部分的に敷込む場合は、あらかじめ敷込む範囲を決めてカットし、全周をシールします。

⑥ 接着剤の塗布

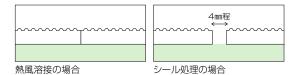
バスナフローレ、バスナアルティ専用接着剤 (バスナセメント EPO) を塗布します。この接着剤は2液型エポキシ樹脂系接着剤ですので、A液とB液をプラスチック容器等に等量計量し、色が均一になるまで攪拌してから、速やかに塗布してください。

7 シートの貼付け

仮敷きで取れなかった巻き癖を裏巻きにする等して充分に取り除い てください。エアーを巻込んだり、たるみが出ないように、中央か ら空気を追い出すようにして貼付けます。

🔞 継ぎ目部の処理

バスナフローレ、バスナアルティの継目処理は熱風溶接・シール剤のどちらでも施工可能です。継目処理を溶接する場合は突付け、シール処理する場合は4m程あけて施工します。



② 圧着・エアー抜き

施工後は目地部分を含め、シート全面を充分圧着します。

※巻き癖が取れなかった場合、部分的に浮きが発生する事があります。その場合はライスター、ドライヤー等の熱風でシートをやわらかくした上で再度圧着してください。

10 養生・確認

接着剤による汚れ等、不備な点がないかチェックし、養生します。

熱風溶接工法による継目処理

バスナフローレ、バスナアルティ専用溶接棒を使用します。

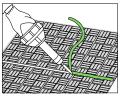
1 カット

接着剤が充分に硬化した後、目地部分を満切り機か満切り力ッターでUまたはVカットします。



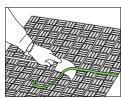
2 熱風溶接

バスナ専用溶接棒を 熱風溶接します。



3 余剰部分カット

スパトラナイフ等を用いて 余剰部分をカットします。



バスナシール SS による継目・端部処理

バスナフローレ、バスナアルティ専用シール剤 (バスナシールSS)を使用します。

1 マスキング

シールする周辺を汚さないように、マスキングテープを貼ります。塗布表面のゴミ、ホコリ等を除去し、水分のないことを確認します。



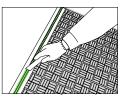
2 充填

カートリッジの先端部をカットし、 防湿膜に穴をあけてからコーキン グガンにセットし、シート継目・端 部に充填します。



③ 平滑にする

充填後、すぐに仕上げ用のヘラで 表面を平滑に仕上げます。



4 マスキングテープの除去、養生

表面を仕上げた後、すぐにマスキングテープを取り除き、一晩養生します。その後入浴は可能ですが、シール剤が完全に硬化するまでには2~3日かかります。



注意

※シール剤が完全に硬化するまでは、 キャスターの使用やブラシ等での清掃はお避けください。

バスナリアルデザイン施工手順

(継ぎ目: バスナシール SS、端部: バスナシール SS)

施工方法

🕕 下地の確認 (下地調整)

バスナリアルデザインを施工する下地としての条件に適しているか どうかチェックします。 1/100~1/300程度のなだらかな勾配の ある下地であることが大切です。

モルタル・コンクリート下地

- ●下地湿気は、「高周波水分計HI-520-2型(D.MODE) 620未 満」を条件とします。
- ●凹凸は、ケレン用具や下地補修材 (クイックレベラー等) で補修し

セラミックタイル下地

●目地部分を下地補修材 (クイックレベラー等) で埋めて平滑に仕 上げます。尚、セラミックタイル上に付いた補修材は、拭き取る か、あるいはケレン用具等で取り除きます。

●目地等の凹凸がある場合には、バスナパテEPO等を使用して補 修します。

2 材料納入・仮敷

仮敷をして、巻き癖等を取ります。

※巻き癖等を取りやすくする為にできるだけ10℃以上の場所で仮 敷きしてください。

③ 下地の清掃

下地のホコリ、ゴミ等を除去します。

4 割付け・粗切り

できるだけ目地が少なく、水の流れを妨げないように、また端部に 細かいカットが入らないように割付けし、多少長めにカットしておき ます。輸送・保管中にシートの耳が破損している場合は、耳落とし を行います。

5 シートのカット

全面敷込

● 壁際はシールを考慮し、3~5m程度空くように巾定規やバース クライバー等を用いてカットします。

セラミックタイル下地やFRP下地にシートを部分的に敷込む場合 は、あらかじめ敷込む範囲を決めてカットし、全周をシールします。

6 接着剤の塗布

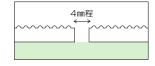
バスナリアルデザイン専用接着剤 (バスナセメントEPO) を塗布し ます。この接着剤は2液型エポキシ樹脂系接着剤ですので、A液と B液をプラスチック容器等に等量計量し、色が均一になるまで攪拌 してから、速やかに塗布してください。

🚺 シートの貼付け

仮敷きで取れなかった巻き癖を裏巻きにする等して充分に取り除い てください。エアーを巻込んだり、たるみが出ないように、中央か ら空気を追い出すようにして貼付けます。

🔞 継ぎ目部の処理

バスナリアルデザインの継目処理はバスナシールSSによるシール 処理に限ります。バスナリアルデザインの目地部は、4mm程あけて 施工します。



᠑ 圧着・エアー抜き

施工後はシート全面を充分圧着します。

※巻き癖が取れなかった場合、部分的に浮きが発生する事がありま す。その場合はライスター、ドライヤー等の熱風でシートをやわ らかくした上で再度圧着してください。

⑪ 養生・確認

接着剤による汚れ等、不備な点がないかチェックし、養生します。

バスナシール SS による継目処理

スナリアルデザイン専用シール剤 (バスナシールSS)を 使用します。※溶接棒は使用できません。

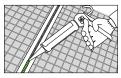
1 マスキング

シールの継目に沿ってマスキング テープを貼ります。塗布表面のゴミ、 ホコリ等を除去し、水分のないこと を確認します。



2 充埴

カートリッジの先端部をカットし、防 湿膜に穴をあけてからコーキングガ ンにセットし、シート継目に充填しま



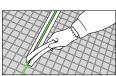
🔞 平滑にする

充填後、すぐに仕上げ用のヘラで表 面を平滑に仕上げます。



4 マスキングテープの除去、養生

表面を仕上げた後、すぐにマスキン グテープを取り除き、一晩養生しま す。その後入浴は可能ですが、シー ル剤が完全に硬化するまでには2~ 3日かかります。



注意

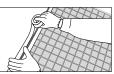
※シール剤が完全に硬化するまでは、 キャスターの使用やブラシ等での清掃はお避けください。

バスナシール SS による端部処理

バスナリアルデザイン専用シール剤(バスナシールSS) を使用します。

🚹 マスキング

シールする周辺を汚さないように、 マスキングテープを貼ります。塗 布表面のゴミ、ホコリ等を除去し、 水分のないことを確認します。



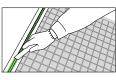
2 充填

カートリッジの先端部をカットし、防 湿膜に穴をあけてからコーキングガ ンにセットし、シート端部に充填し ます。



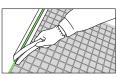
3 平滑にする

充填後、すぐに仕上げ用のヘラで 表面を平滑に仕上げます。



4 マスキングテープの除去、養生

表面を仕上げた後、すぐにマスキ ングテープを取り除き、一晩養生 します。その後入浴は可能ですが、 シール剤が完全に硬化するまでに は2~3日かかります。



※シール剤が完全に硬化するまでは、 キャスターの使用やブラシ等での清掃はお避けください。



バスナリアルデザイン・バスナフローレ・バスナアルティ 住宅浴室

施工手順

1)下地の補修



(ユニットバスのFRP下地の補修)

- ①きれいに清掃します。
- ②サンドペーパー等で下地を荒らします。
- ③使用方法にしたがって「バスナパテEPO」の A液・B液を等量混合します。
- ④左官ゴテや地ベラ等を使用して、目地等、凹凸 を埋め平滑にします。



注意

- ・発熱しながら硬化します。やけど等に注意してください。 10℃以下の環境では硬化不良となりますので、空調等で 室温を上げて施工してください。
- ・クイックレベラーなどのセメント系補修材はFRP下地に使えません。



(セラミックタイル下地の補修)

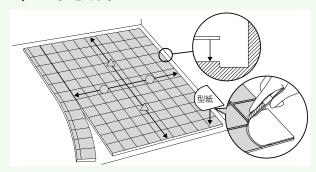
- ①きれいに清掃します。
- ②使用方法にしたがって「クイックレベラー」に水を 混ぜてください。
- ③左官ゴテや地ベラ等を使用して、セラミックタイルの目地部分を埋めて平滑に仕上げます。
- ④生乾きを目処に、セラミックタイル上に付いた「クイックレベラー」は拭取るか、ケレンで取り除きます。



注意

- ・セラミックタイル上に「クイックレベラー」は残さないでく ださい。
- ※下地の凹凸が激しく(1mm以上)あり、下地補修材(バスナパテEPO、クイックレベラー)で目地埋めができない場合、下地材を剥しモルタル・コンクリートを打ち直していただくか、グラインダー等で削り平滑に仕上げていただく必要があります。
- ※下地補修により、下地の水勾配が取れなくなり窪みなどができると水はけ性が悪くなります。下地水勾配を排水口に向かい 1/100~3/100に仕上げてから施工してください。

2) シートをカット



- ①シートを貼る範囲を決め、中心より割付けます。 中心点より前後左右を均等な長さにします。
- ②シートの貼付位置にエンピツ等で基準線を入れて おきます。
- ③メジャーで採寸し、定規で正確にカットします。
- ④排水口など曲線部分は型紙を取り、型紙を元に カットします。
 - ※シートはあらかじめ仮敷きを行い、充分に巻き癖を取り除いてください。

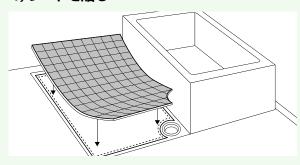
3)接着剤を塗布



- ①下地補修材が乾燥したことを確認し、ケレン用具や サンドペーパー等で下地補修材を平滑にします。
- ②ゴミ、ホコリ等を取り除き、きれいに清掃します。
- ③使用方法にしたがって「バスナセメントEPO」の A液・B液を等量混合します。
- ④くし目ごてを使用し速やかに塗布してください。

10℃以下の環境では硬化不良となりますので、空調等で 室温を上げて施工してください。

4) シートを貼る



①適切な待ち時間(約20分)をとってください。 貼付可能時間は以下が目安です。

夏 20~60分 冬 20~120分

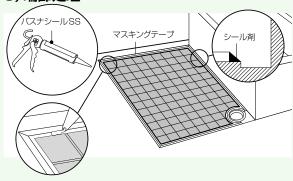
- ②シートに巻き癖が残っている場合は、裏巻きにする 等して充分に巻き癖を取り除いてください。
- ③基準線に合わせてシートを貼付けてください。

5) 圧着



- ①ハンドローラーでしっかり圧着します。
 - ※巻き癖が取れなかった場合、部分的に浮きが発生することがありま す。その場合はライスター、ドライヤー等の熱風でシートをやわらか くした上で再度圧着してください。

6)端部処理



- ①シート全周をおよそ5mm幅で仕上がるようにマスキ ングテープを貼ります。
- ②ゴミ、ホコリ等を取り除き、水分の無いことを確認 します。
- ③ 「バスナシールSS」をコーキングガンにセットして、 シート端部に充填します。
- ④充填後すぐに仕上げ用のヘラなどを用いて平滑に
- ⑤表面を仕上げた後、すぐにマスキングテープを取り 除きます。

一晩養生し、その後の入浴は可能ですがシールが完全に硬化するまでに2~3日かかります。 シールが完全に硬化するまでは、シール部分を踏んだり、ブラシ等での清掃はお避けください。

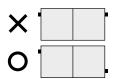
導電性ビニル床シート『アースリューム』の施工(アース工法)

施工上の特性

導電性能を確実に発揮させるためには、アース工法により、部屋の端部に設置したアース板まで、床材がとらえた静電気を確実に流す必要があります。必ず継ぎ目を接着剤導電エポグレーでジョイントさせ、アース板を壁面付近の床に設置し、このアース板に導電エポグレーを使用して床材を短絡させます。継目処理は専用溶接棒による熱風溶接を行います。

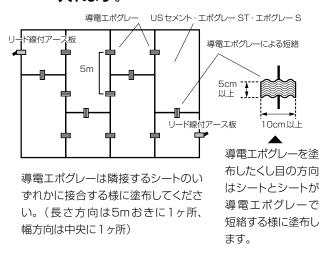
約100㎡につき1ヶ所アース板を設けてください。

アース板とシートとの接着、シートとシートの短絡には必ず「導電エポグレー」を使用してください。 広い場所で2ヶ所アースをとる場合は対角の位置でとるようにしてください。



施工手順

- 1 下地が固定されており、平滑なことを確認し、ワックスや汚れは除去します。 隙間や段差等は補修します。
- 2 貼り方向、取り合わせを検討し割付けます。
- 3 シートを指定接着剤で接着します。
- 4 シートのジョイント5m おきに1ヶ所 導電エポグレーを10cm以上×5cm以上で 入れます。



5 シートのジョイントは専用溶接棒で 熱風溶接します。

※溶接棒に導電性はありません。

アースターミナルに短絡させたアース板と シートを導電エポグレーで接着します。

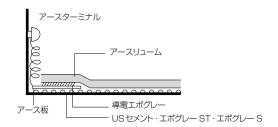
アース工法 (導電工法) 用副資材

導電性シート (アースリューム) とアースターミナルを連結させる際に使用。

0.3mm×20mm幅×150mm(アース板) 2m(リード線)



リード線付アース板



- ※アース板とシートの接着には必ず「導電エボグレー」を使用してください。
- ※リード線のアースターミナルへの接続は電気工事となりますので資格が必要です。
- ※アースの種類は D 種接地工事です。
- 7 接着剤などによる汚れや不備な点がない かを確認し、接着強度が出るまで48時間 以上養生します。

必要に応じて養生シートを使用してくだ さい。

舞台用ビニル床シート『TMフロア』の施工

施工上の特性

バレエ舞台・レッスン場をはじめ、文化会館ホールやエアロビクス教室・幼稚園・福祉施設などで臨時に使用する場合のテープ留めの 置き敷き工法、バレエ教室、専用レッスン場など常設で使用する場合での接着剤を使用した工法があります。

舞台用下地の上に施工されることを標準としています。舞台用の木造床の上や、合板下地 (根太組構造)に施工してください。

モルタルやコンクリート下地、塩ビタイルの上などにTMフロアを施工すると硬く仕上ります。アンダーレイシートと組み合わせると弾力性が増しますが、やわらかさの適正については事前にご確認ください。

施工手順

● 接着剤を使用した工法

ビニル床シートと同様に施工してください。

2 テープ工法

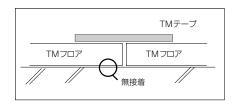
TMフロアのテープ工法では 専用のTMテープを使用します。

TMテープ (TM-TAPE) 規格:幅50mm×25m巻



一重テープ貼り

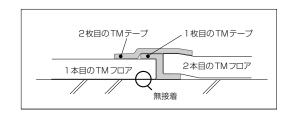
1日か2日程度の公演に耐える程度。



シートのジョイント部にTMテープをまたぐように貼付けます。

二重テープ貼り

同一の舞台が数週間におよぶ長期公演、またはTMフロアそのものが巻き癖などによって波打ち、納まりが悪いとき。



- ①1枚目のTMフロアの位置決めをします。
- ②シート端部の表面にテープの半分を貼り、残り半分を床に貼付けます。
- ③2枚目のTMフロアを先のテープに沿わせて、押しつけます。
- ④2本目のテープ半分は2枚目のシート表面に、他の半分は、先のテープ(1枚目のシート表面に貼付けたテープ)に重ねて貼付けます。
 - ※2本目のテープは両方のシート上に均等に貼付けられるよう にします。テープの段差は使用上支障となりません。

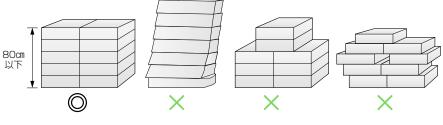
施工上の特性

- ○ピールアップ形接着剤「エコGAセメント」による全面接着工法を標準とします。
- ◎プラスチック系床材に比べて、反り、突上げ、不陸が目立ちません。
- ◎塩ビバック品の目地部はきつくなりすぎないように注意して施工してください。

目安:500mm角の場合10枚で5003mm~5005mm程度。

運搬・保管上のご注意

●製品は梱包をとかずに、平坦な場所に ずらさず積載して保管し、積載は80 80㎝ cmまでを限度とします。 積み過ぎや 雨水などによる水濡れは避けてくださ い。変形・変退色・変質・汚染・パイ ルの損傷の原因となります。



タイルカーペットの変形やパイル潰れのおそれ

施工手順

- 貼り方向・取り合わせを検討の上割付けし、 基準線を設けます。(P.42参照)
- ② ピールアップ形接着剤 「エコGA セメント」を塗布 します。
- 接着剤「エコGAセメント」が半透明になってから、 基準線に沿ってタイルカーペットを敷込みます。

市松貼り



流し貼り

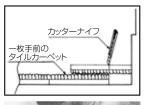


- ●裏面の矢印等を確認しながら、指定された貼り方で敷込みます。
- ●階段部分は流し貼りを標準とします。

4 壁ぎわなど、切込みが必要な部分を表カットまたは 裏カットで切込みます。 複雑な切込みには表カットが適しています。

裏カット

切込みを行うタイルカーペットを一枚手前のタイルカーペッ トの上に正確にのせて合せ切りします。厚さの半分までカッ ターをいれた後に、折り曲げて再度カッターで切落とします。



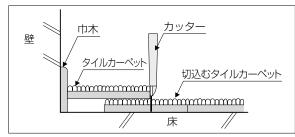






表カット

カッターを深くいれ、一度にバック層まで完全にカットします。 残った場合はカッターを使って切り離します。



1 注意

表カットすると切込み寸法が長めになりがちなので注意してください。

⑤ ハンドローラーで目地部を押さえておくと目地部の 浮きなどが解消され、きれいに仕上ります。また、 パイルの巻込みも目地部に隙間が空いたように見 えるため、補修しておきます。

注意

タイルカーペットはきつめ施工にならないようご注意ください。

きつめ施工をした場合でも、目地部を無理やり押し込む と一旦はきれいに納まりますが、ピールアップ形接着剤 は完全に硬化しないため、後日突上げるおそれがありま す。充分ご注意願います。

⑥ 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認 し、必要に応じて養生シートで養生します。

チェックポイント

◎目地部に毛羽立ちがある場合

毛羽立っている部分の隣のタイルカーペットを少し持ち上げ、起き上がったパイルを、接しているカーペットの側面で少し押さえながら元に戻すと、ある程度目立ちにくくなります。小さなマイナスドライバーの先で目地をしごいて直る場合もあります。

◎汚れた際の取り替え、

ローテーションしたい場合

入口など汚れやすい位置には、真物がくるように 割付けます。

二重床上へのタイルカーペットの施工方法

施工上の特性

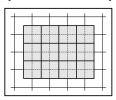
- ◎タイルカーペットの施工はルースレイタイル と同じです。詳細はP.53をご参照ください。
 - ●開口率の高いパネルや凹凸のはげしいパネルはタイルカーペットの破損、突上げが発生するおそれがあるため施工できません。

施工手順

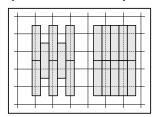
パネル目地とタイルカーペット目地を半分程度ずらして割付けます。(1/2スライド工法・またぎ貼り)

パネルとタイルカーペットの目地を合わせると目地スキ、段差 などが発生することがあります。

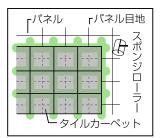
正方形タイプ (500mm×500mm)



プランクタイプ(VARY) (250m×1000mm)



- フリーアクセスフロアは全面塗布せず、パネルの目 地部分を避けスポンジローラーで接着剤を塗布して ください。
 - ※樹脂製のOAフロアはスチール製等のものに比べ接着力が劣ります。接着強度を出すため、全面塗布してください。



パネルの目地・支持脚の固 定ネジなどへ接着剤が流れ ないよう注意します。

- ③ 室温15℃以下ではタイル間に名刺1枚分の隙間を空けてゆるめに施工してください。
 - ●詰めすぎて施工すると、後日、突上げが発生すること があります。

タイルカーペット用アンダーレイシートの施工

アンダーレイシート・NS アンダーレイシートの施工方法は P.70 をご参照ください。

施工上の特性

- ◎タイルカーペット用アンダーレイシートは歩行感を向上させるタイルカーペット専用の下地材 です。
- ◎ビニル床タイル・ビニル床シートは上材として使用できません。
- ◎タイルカーペット用アンダーレイシートは階下への音の伝わりを低減します。
- ◎タイルカーペット用アンダーレイシートはクッション性がありますので、タイルカーペットの目 地に負荷がかかると、タイルカーペットの突上げが生じる場合があります。施工環境・使用 条件を考慮した上でご使用してください。

タイルカーペット用アンダーレイシート

● 東リマークが印刷されている面を 表面(仕上げ材側)として施工してください。



■規格	
全厚	4mm • 6mm
寸法	950mm×20m
梱包	20m /巻 (出荷は巻単位となります。)
重量	〈4mm厚〉19.0kg /巻 〈6mm厚〉25.5kg /巻

丁法

<u> </u>					
工法名	下地	接着剤			
一般工法	乾燥したモルタル・コンクリート下地	⊐ AR600			
耐湿工法	湿気のおそれのある	USセメント			
	モルタル・コンクリート下地				

タイルカーペット用アンダーレイシートの施工

施工の基本的な流れはアンダーレイシート・NSアン ダーレイシートと同じです。P.70をご参照ください。

1) シートを割付けに基づいて若干長め(約10cm)に 粗切りします。タイルカーペットの目地とタイル カーペット用アンダーレイシートの目地が重ならな いよう割付けてください。

タイルカーペット用アンダーレイシート

- 東リマークの印刷されている面が表面 (仕上げ材 側)として施工してください。
- 2) 指定接着剤を塗布し、適正な待ち時間を取ってか らタイルカーペット用アンダーレイシートを突付け て貼ります。壁際等の周囲はパーキリ等で切込み ます。
- 3) ローラー掛けを行い、充分にエア抜きしてください。

タイルカーペット(仕上げ材)の施工

- 1) タイルカーペット用アンダーレイシートの施工後、 24時間以上養生してからタイルカーペットを施工 します。
- 2) タイルカーペットは指定接着剤 「エコGA セメント」 を用い、通常の施工方法で施工します。

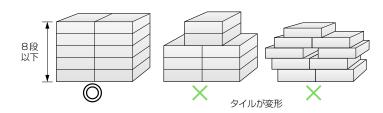
ファブテックタイルの施工

施工上の特性

- ○ピールアップ形接着剤『エコGAセメント』による全面接着工法を標準とします。 塗布量はタイルカーペットの標準塗布量と異なりますのでご注意ください。
- ○表面材を構成している塩ビ材には芯材が使用されています。目地部でその芯材が出ている場合には、引っ張らずにはさみ等で除去してください。
- ◎ファブテックタイルの目地に負荷がかかると、目地部の芯材が出たり、突上げが生じる場合があります。施工環境・使用条件を考慮した上でご使用ください。
 - ※タイルカーペット用アンダーレイシートの上にファブテックタイルを施工すると、より上記の現象が発現しやすくなるため、施工できません。
- ◎ファブテックタイルよりも全厚の薄い商品を貼り合わせる際は、必ず段差調整材などを使用してください。
- ◎製品の特性上、端部が硬くなっているため、軍手を着用するなど取扱いには充分注意してください。
- ◎重量物を落下させたり、引きずった場合、表面が傷付く場合があります。
- ◎施工後、台車の往来や家具の移動によって過度の荷重がかかると、タイルが剥がれることがあります。重量物を往来させる際には合板などで保護してください。
- ○床暖房には対応しておりません。ご注意ください。
- ◎ワックスは使用しないでください。

運搬・保管上のご注意

- ●製品は梱包をとかずに、平坦な場所にずらさず積載して保管し、積載は8段までを限度とします。積み過ぎや雨水などによる水濡れは避けてください。
- 変形・変退色・変質・汚染・損傷の原因となります。
- 段ボールからの取出し時に製品が滑り出ることがあるため、充分ご注意願います。



ファブテックタイルの施工方法はタイルカーペットとほぼ 同様です。

P.90を合わせてご参照ください。

1) ピールアップ形接着剤 「エコGA セメント」 を塗布します。



メモ

標準塗布量(タイルカーペット(バッキングが塩ビ樹脂品) 施工時塗布量の約 1.5 倍)を塗布してください。塗布量 が少ないとタイルにズレ等が発生するおそれがあります。

- 2)接着剤「エコGAセメント」が半透明になってから、 基準線に沿ってファブテックタイルを敷込みます。
 - ●裏面の矢印等を確認しながら、指定された貼り方で敷込みます。
 - ●階段部分は流し貼りを標準とします。
 - ●壁ぎわなど、切込みが必要な部分を切込みます。
- 3)接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、必要に応じて養生シートで養生します。

ロールカーペット / フェルトグリッパー工法

フェルトグリッパー工法はロールカーペットの施工で最も一般的な工法です。アンダーレイにフェルトを用い、敷込む場所の周囲や壁ぎわにグリッパーを打ちつけ、グリッパーのピンに引き伸ばされたロールカーペットを引っ掛け固定させる方法です。

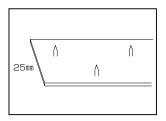
施工上の特性

ウイルトンカーペットやタフテッドカーペットは、施工後に地組織や基布などの繊維が使用中に伸びる(0.5%~1.5%)ことがあります。充分に伸ばしてからグリッパーのピンに引っ掛けてください。

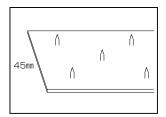
◎グリッパーとはロールカーペットを固定させる部材

標準的なグリッパーは、幅 25mm、長さ 1,200mm、厚み 7 mmにカットした合板にロールカーペットを固定させるピンが下から貫いているものを言います。

●面積が大きい場所には幅の広いグリッパーを使用します。

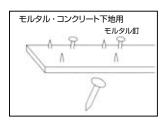


グリッパー(25mm幅)



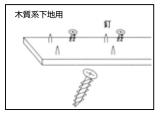
グリッパー(45mm幅)

●釘は、施工する床下地によって下記のいずれかを選びます。



モルタル・コンクリート下地用

●モルタル・コンクリート用釘が 打ちつけてあるもの。



木質系下地用

●普通釘が打ちつけてあるもの。

◎グリッパーとカーペットの関係

厚みのあるカーペットには、ピンの長いグリッパーを使用します。

◎グリッパーと下地の関係

1) 木質系下地の場合

●木質系下地用を使用します。

2) モルタル・コンクリート下地の場合

● 古い建物でモルタルが割れてグリッパーが取付けできない場合は接着剤を併用して施工します。接着剤は反応形接着剤を使用します。

3) 鋼板、人研ぎ下地の場合

- 釘なしグリッパーを使用するか、釘を抜いて使用します。
- 反応形接着剤をグリッパーの裏面・下地との両面に 塗布します。所定の待ち時間の経過後、グリッパー を所定の位置に置き、充分に圧着してください。
- 乾燥固化するまで48時間以上放置し、固定していることを確認してから伸ばし作業を行います。

V V

注意

- ●グリッパーのピン先は必ず壁 の方向に向けてください。
- ●グリッパーのピンをつぶさな いように注意して、釘が木部 に沈むまで充分に打ちこみ ます。
- ●グリッパーのサイズが小さい 場合も補助釘で2ヶ所以上 仮止めしてください。
- ●床暖房や床下配管など、釘 の打つ位置に気をつけてく ださい
- ださい。 ●グリッパーが反っている場合は短い釘を補助釘として使用し、





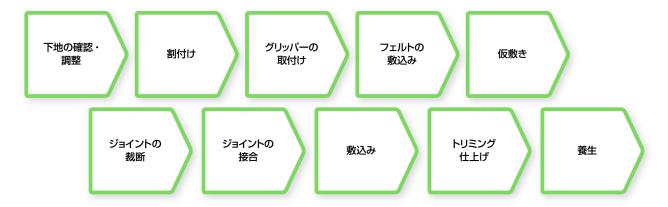


運搬・保管上のご注意

- ●運搬途上で製品を折らないように注意してください。折れじわが残ったり、施工後の伸びの原因となります。
- ●製品は梱包をとかずに、平坦な場所に寝かせて保管し、上にものを載せないでください。 また、俵積みや、雨水などによる水濡れは避けてください。変形・変質・変退色・汚染・ゆるみやパイルのへたりの原因となります。

の施工

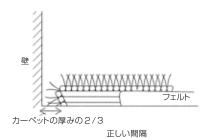
施工手順



- 貼り方向・取り合わせを検討し割付けします。 (P.42参照)
- ② グリッパーを取付けます。



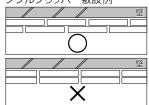


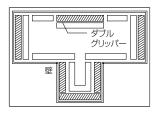


グリッパーのピンが 壁に向く(グリッパー の文字が読める) 状 態で部屋の周囲に打 ちます。グリッパー と壁面との間隔は使 用するカーペットの 厚みの 2/3 程度あ けます。

歩行量が多いところやたるみが発生しやすいとこ ろにはグリッパーを2重に敷設するダブルグリッ パーとします (または、広幅 (45mm幅) のグリッパー を使用します)。

ダブルグリッパー敷設例



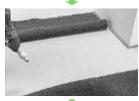


③ フェルトを敷込みます。フェルトはグリッパーに密 着させて敷込み、必要に応じて接着剤、ステープ ルハンマーなどで下地に固定します。フェルトは切 込まず、真物でついでいきます。

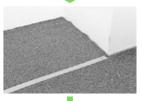
カーペットのジョイントとフェルトのジョイントは重 ならないようにしてください。



フェルトの敷込み。



基本はカーペットの流し方向と 平行にフェルトを敷込みます。 フェルトが動かないように天然 ゴムラテックス接着剤で下地と 固定します。



大面積の場合は、フェルトが ずれないようにクラフトテー プで継ぎ目部分を貼ると施工 しやすくなります。



壁際のグリッパーに突付けて、 きっちりとフェルトを納めます。



4 ロールカーペットを仮敷きします。



- ●パイルの方向を確認して、流れ 方向を合わせます。
- ●柄物の場合、柄リピートを確認 し、誤差が生じていた場合には、 柄合わせしやすいように並べか えます。
- ⑤ パイルに沿って目通しを行い、ループパイルカッター やはさみなどで裁断します。





上の刃を上げずに下の刃でカットします。 脱線させないよう注意深く切ります。

裁断面のパイルがほつれないように、裁断後に天然ゴムラ テックス接着剤などでほつれ留めを行います。

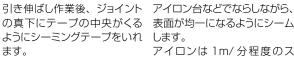
⑥ 壁回りの余剰分を除いてカットします。





ジョイントをシーミングテープで接合します。







の真下にテープの中央がくる 表面が均一になるようにシーム

アイロンは 1m/ 分程度のス ピードで進めます。カーペット のジョイントに乗らないように 注意してください。

細かい調整には千枚通しを使用 すると便利です。

注意

- ●幅継ぎは、あらかじめジョイントの両端をきつめに引っ張って壁 際のグリッパーのピンに引っ掛けます。ニーキッカーでしわ伸 ばし程度に丈方向に軽く引っ張ってグリッパーに掛けてから接 合作業にかかります。
- ●カーペットは裏巻きで、広げた時に端(耳)部分がはね上がっ ています。あらかじめ反りぐせのあるところは平滑になるよう 手で曲げておきます。特に冬期の施工は癖がきついので注意 してください。
- ●ジュートバックと合繊二次基布とではアイロンの温度が異なり ます。合繊二次基布は高温に弱いため注意してください。

(3) ニーキッカーやストレッチャーで、カーペットを充 分に伸ばしながら敷込みます。

カーペットはコシがなく伸びやす いため、充分に伸ばしてください。 特に多人数が歩行するコントラク ト現場では注意が必要です。



※カーペットを伸ばす工具には以下があります。 施工環境に合わせて選択してください。

- ・ニーキッカー
- ・パワーストレッチャー(広い空間に使用)
- ・リストレッチャー(狭い空間に使用)
- ●台車の移動があるなど、膨れが発生しやすいと予測される場所 はパワーストレッチャーで充分に引っ張ってください。

注意

● 出隅、入隅部分はカットした上で伸ばします。



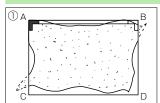




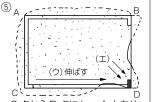
の施工

部屋の敷込み方法

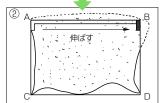
[四角の部屋の場合]



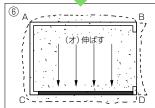
A を開始点とします。 Aの両側約30cmをグリッ パーのピンにカーペットを 引っ掛けます。



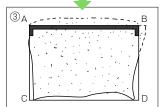
C点からD点にカーペットを伸 ばし(ウ)、ピンに引っ掛けます。 D点でAD方向にむけて引っ張 りD点でピンを掛けます。(エ)



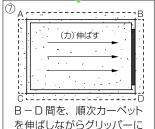
A 点から B 点の方へカーペッ トを伸ばし、B点のグリッパー のピンに引っ掛けます。(点 線は余ったカーペットの部分)



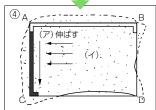
C-D間を、順次カーペット を伸ばしながらグリッパーに 引っ掛け、よく圧着します。(オ)



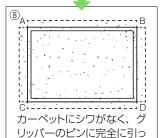
A、B 側を全部ピンに引っ掛 けハンマーの頭の部分や柄で しごいて圧着します。端末は まだ溝にいれないでください。



引っ掛け、よく圧着します。(カ)



A 点から C 点へカーペット を伸ばしながら C 点に引っ 掛け(ア)、A-C 間側を全 部ピンに引っ掛け、前述③ の要領で圧着します。(イ)



掛かっていることを確認して

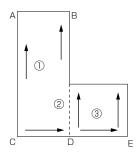
完了です。

注意

余ったカーペットを切取る前に、以下を確認してください。

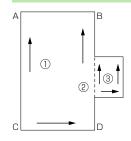
- ●接合部分の継ぎ目はまっすぐか。
- ●柄物の場合は柄と柄が合っているか。
- ●柄の通りは、まっすぐ通っているか。
- ●カーペットは充分に伸びきってグリッパーのピンに完全に引っ 掛かっているか。

[L字型の部屋の場合]



- ①L字型の大きい長方形の部分を、 前述の四角の部屋と同様の方法で 動込みます。
- ②最後のB-D間の部分の継ぎ目を シームで接合します。
- ③接合部分を基準として、もう片方の 長方形の部分を四角の部屋の場合 と同様に敷込みます。

[T字型の部屋の場合]



- ① T 字型の大きい方の長方形の部 分を、前述の四角の部屋と同様の 方法で敷込んでいきます。
- ②最後の B D 間の部分の継ぎ目 をシームで接合します。
- ③接合部分を基準として、もう片方 の長方形の部分を四角の部屋の 場合と同様に敷込みます。

を裁断して仕上げます。

壁際はカーペットトリマーで裁 断します。トリマーの使えない 四隅はカッターで仕上げます。





グリッパーと壁際の隙間がない 写真のようにカーペットの端部を 時は、ステアツールを使って打 ち込みます。



トリマーの爪ガイドで納めます。

注意

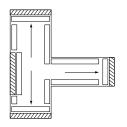
- ●下地がコンクリートの場合、力まかせにステアツールを使 うとグリッパーがゆるむことがあるのでご注意ください。
- ●掃出し窓や出入口など歩行するところは、グリッパーの頭 をつぶしておきます。
- ●グリッパーからカーペットをはずす時は、パイル抜けを防ぐ ためニーキッカーでゆるめてからはずします。
- ●シーム作業後は完全に冷えてから次の作業にかかります。 熱が残っているとシームがはずれるのでご注意ください。
- ⑪ 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認 し、養生します。必要に応じて養生シートで養生し ます。

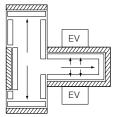
ロールカーペット / フェルトグリッパー工法 / 廊下

施工手順

- 1 貼り方向・取り合わせを検討し、割付けます。 (P.42参照)
- ② 歩行量が多い場所、張力がかかりたるみの発生しやすい場所には、グリッパーを2重に敷設し、ダブルグリッパーとします(または、広幅(45mm幅)のグリッパーを使用します)。

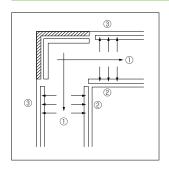
ダブルグリッパー敷設例



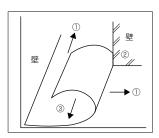


- ③ フェルトを敷込みます。
- 4 L字廊下、T字廊下では曲がり部分を接合してから 敷込む方法と、片方を敷込んでから接合する方法 があります。

[L字型廊下の場合]



- ◆入隅部分(左上)はダブルグリッパーとします。
- ●カーペットを入隅部分(左上)のグリッパーに完全に引っ掛け固定し、まず① の方向に伸ばします。
- ●次に出隅部分②をグリッパーに引っ掛けます。その後、③の部分をグリッパーに引っ掛けます。

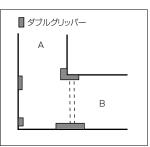


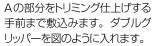
- ●廊下の曲り角部分は、歩行、 台車の往来などによりねじれ が加わるため、特に①、②、 ③の方向に強く伸ばしてくだ さい。ただし、②を伸ばしす ぎると、出隅部分にしわ、膨 れが発生するのでご注意くだ さい。
- ②→③の順に伸ばします。逆にすると出隅でしわや膨れが発生するおそれがあります。③の外側方向に強く伸ばしてください。

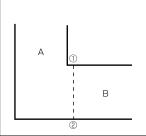
注意

● L字の曲がり部分は③の外側に強く伸びます。 粗切りの際、 角を余分に取っておきます。

[片方を敷込み接合する場合]







①-②の接合部分を軽く引っ 張って接合し、B部分を敷込み ます。

ロールカーペット / フェルトグリッパー工法 / 階段

施工手順

グリッパーを踏み面と蹴込みの2ヶ所に取付けます。 上階から一段下りたところから要尺を計算します。

踏み面:

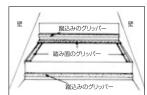
蹴込みから、グリッパーの厚 さ+カーペットの厚さ程度離 した位置に取付けます。



蹴込み:

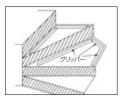
グリッパーの厚さ+カーペットの厚さ×2倍程度上がった位置 に取付けます。



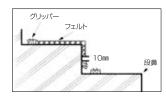


ピンの方向は、踏み面と蹴込みの角に互いに向き合っている 状態にします。階段の幅が広い (1m以上) 場合や踏み面の 広い階段、また使用頻度の高い階段では踏み面の左右にも グリッパーを取付けます。また、このグリッパーは、踏み面 の角より20mm程度短くします。蹴込みの左右の立上がりは 必要ありません。

住居用の直進階段では、階段幅が 狭いので踏み面の左右の取付けは 不要です。織物カーペットは両端 のほつれ止めをします。折れ階段 の踏み面には、図のようにグリッ パーを取付けます。



2 上段から敷込みます。蹴込み部のフェルトはグリッ パーより少し (5mm~10mm) 控えます。



- ずを除去します。
- ●標準的な階段では、踏み面の 奥の部分に取付けたグリッパー から下に向かって、下段の蹴 込みより立ち上がり (次の段の 蹴込み) 部分に取付けたグリッ パーの上部まで敷込みます。



●清掃してグリッパーの切断く ●フェルトは動かないよう に、踏み面に接着剤や釘 などで固定します。また 必要に応じて立ち上がり 部分も接着剤や釘などで 仮止めします。変形階段 には有効です。

🔞 パイルの方向が階段の幅 に対して平行になるように、 カーペットを敷込みます。

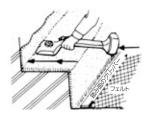


●1つの階段では、パイル(毛並)の方向は、同じ方向に統一 してください。

施工のポイント

- ①階段の幅、長さに合わせてカーペットがゆがまないように裁断 します。
- ②階段上部の蹴込みと踏み面の奥 (入隅部分) にグリッパーを取 付け、カーペットを引っ掛けます。





- ③カーペットを下方にゆがまないように伸ばしながら、次の段の 蹴込みと踏み面の奥 (入隅部分) をステアツールやハンマーの 柄などを使って、中心部分より左右に順々に階段になじませま す。幅に対してのしわを作らないように注意して、グリッパー のピンに引っ掛け、順次この作業を繰り返してください。
 - ●住居用の階段では、この作業終了後すぐに、ステアツール とハンマーを使ってグリッパー溝に押込んでも、充分に引き 伸ばされてグリッパーのピンにカーペットの基布は突き刺さ ります。
- ④ステアツールを使って、蹴込みと踏み面の入隅部分のグリッパー 溝にカーペットをきっちり押込みます。この時、踏み面、蹴込み の中間(45度位)の角度で押しこむときれいに納まります。





- ⑤左右にグリッパーがある場合は、ニーキッカーを使って、幅方 向に引き伸ばして納めます。
- ⑥この要領で③-④を繰り返して、順次上から下に向かってカー ペットを引き伸ばしながら作業を進めます。



●グリッパーのピンは、充分にカーペットに突き刺し、溝幅は正 確にとってください。

ロールカーペット / 全面接着工法

全面接着工法は、床下地とカーペットの間にフェルトを使用せず、床全面に接着剤を塗布して貼付ける方法で、大面積や通行量 の多い場所にはこの方法が適しています。

施工上の特性

- ◎ロールカーペットの全面接着工法では、エコAR600を使用します。
- ◎全面接着なのでたるみが出にくく、後伸びがないため、カーペットを伸ばす必要がありません。
- ◎移動観覧席など重量物が通る場所の施工は、負荷が大きく基布との間で層間剥離することが あります。東リ営業所までご相談ください。

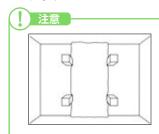
運搬・保管上のご注意

- ●運搬途上で製品を折らないように注意してください。施工後折れじわが残り、施工後の伸びの原因となります。
- ●製品は梱包をとかずに、平坦な場所に寝かせて保管し、上にものを載せないでください。 俵積みや、雨水などによる水濡れは避けてください。変形・変質・変退色・汚染・ゆるみや、パイルのへたりの原因となります。

施工手順



貼り方向・取り合わせを検討し、割付けます。 割付け寸法より少し大きめにカーペットを粗切りし ます。



- ●列柱などがある場合に は、柱に継ぎ目をもって きます。
- ●場合によっては、墨打ち が必要です。
- 2 一度に全部のカーペットを広げると汚れが付きや すいので、2~3枚ずつ広げて仮敷きします。
- 🔞 幅継ぎ。両方のカーペッ トの耳を2~3㎝目通し 裁断します。



4 接合部分の処理。

目通し断裁します。両方のカー ペットがぴったり合わない場合 には、隙間のないようにし、余っ ている部分は重ね気味にしま す。重なった部分は、ジョイン トから遠ざけるようにニーキッ カーを使用します。



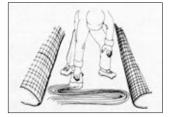
床暖房の埋め込み、その他の事情によって床に釘で仮止めで きない場合には、接着剤の缶や道具箱を仮釘の代わりに置き、 カーペットがずれないようにしてから裏返しにします。

6 仮止め

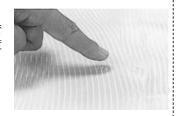
接合部(継ぎ目部)を少し強めに突き合わせ、カーペットが 動かないように、カーペットの長さ方向のほぼ中央部分に、 80~100cm間隔で一列に釘で下地に仮止めします。

- ⑥ 接着剤を塗布し、貼付けます。
 - ●幅方向折り返し方法 (観音開き)

接合部分を中心にして カーペットを左右に仮止 めしたところまで裏返し ます。

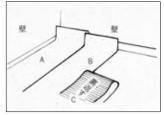


指触乾燥確認方法。 塗布した接着剤に軽く指で 触れて、多少ねばつく程度 になってから貼付けます。



●長手方向折り返し方法

別法として、長手方向折 り返し方法があります。 左右に裏返ししない長手 方向折り返し方法は、二一 ドルパンチカーペットに 適しています。



丈継ぎは、ほつれが出やすいなど強度に劣りますので、丈継 ぎが出ないように割付けます。やむなく丈継ぎをする場合は 片目通しを行います。

🔞 ニーキッカーでならしながら接合部 (継ぎ目部)を 合わせます。

ニーキッカーによって生じたしわは、カーペットの紙管などで 継ぎ目から遠ざけるように下地に圧着して伸ばします。





どでカットして納めます。



⑪ 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認 し、接着強度が出るまで48時間以上養生期間を とります。必要に応じて養生シートで養生します。

チェックポイント

◎織カーペットの場合

継目部分に接着剤を塗布し、ほつれ止めを行います。

- ①先に貼ったカーペットの上に次のカーペットを重 ね、重なり部分をニーキッカーで継ぎ目から遠ざ けるように押しやり、カーペットの戻る力によって 突付けとします。
- ②継ぎ目からパイルがほつれないように、必ず接着 剤を継ぎ目の基布に塗布し、基布が重ならない ように突き合わせます。
- ◎ニードルパンチカーペットの場合

糊入れ後カッターで重ね切り。 もしくはクッションバックカッターで合わせ切り。

施工上の特性

- ◎ロールカーペットを床に置くだけで、床とカーペットを固定しない方法。下地を傷付けたくな い場合に用います。カーペットの端末の周囲を3~5cm折り込み、部屋の形に合わせて敷詰め ます。
- ◎アキスミンスターカーペットや、目付けの多いカーペットには適しません。

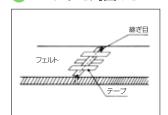
運搬・保管上のご注意

- ●運搬途上で製品を折らないように注意します。折れじわが残ったり、施工後の伸びの原因となります。
- ●製品は梱包をとかずに、平坦な場所に寝かせて保管し、上にものを載せないでください。 俵積みや、雨水などによる水濡れは避けてください。変形・変質・変退色・汚染・ゆるみやパイルのへたりの原因となります。

施工手順



- **🕦 貼り方向・取り合わせを検討し、割付けます。** (P.42参照)
- ②フェルトを周囲から5cm離して敷込みます。



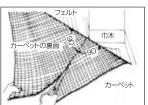
- 約5cm 巾木
- ●フェルトの継ぎ目を縫糸で仕上 げ止めするか、クラフトテープで 上から貼付けます。
- ●フェルトの丈方向の継ぎ目は、 隙間ができやすいので、仕つけ 止めとテープの併用、またはテー プの十字掛け貼りをします。周 囲の折込みしろは、約5cm壁か ら離してください。

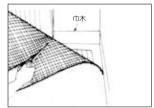
⑥ 仮敷きで巻きぐせを取ります。



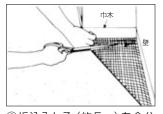
カーペットはニーキッカーで伸ば します。図のようにカーペットの 巻芯を1m程度に切って伸ばす 方法もあります。

4 粗切りし、出隅・入隅部分を切込みます。

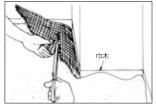




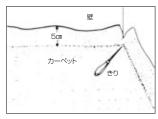
- ①カーペットを裏返して出隅 ②裁断は出隅の底面の角まで の角に向かってはさみで粗 切りします。カッターを使用 する場合は、出隅の角から 手前に向かって裁断します。
 - 正しく切込みます。



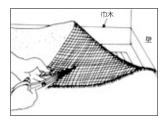
③折込みしろ(約5cm)を余分 につけて、三角形の部分を 切取ります。



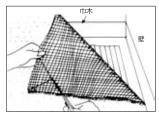
④同じく、入隅も折込みしろ (約5cm)を余分につけて、 三角形を切取ります。



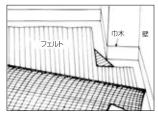
⑤入隅から先に裁断する場合 は、入隅の角の位置を千枚 通しか、きりでしるしを付け ます。



⑥入隅部分のカーペットを裏返して、はさみで切込みます。

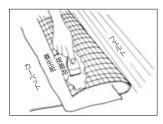


⑦入隅の角は、折込みしろが重ならないように、切取ります。



⑧出隅の角にフェルトを三角形に切って、補充します。

5 折込みしろ (3~5cm) の2倍 (6~10cm) の幅 に天然ゴムラテックス接着剤を塗布します。



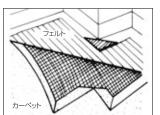
◆へらまたはカーペットの小片 (5cm×10cm位)で接着剤 を塗布します。

裏返したカーペットの下に養生用の紙・シートなどを入れて、カーペットの表面を保護してください。

⑥ 接着剤が半透明になった後で、折込みしろを裏側に圧着します。



フェルトとの重なりを点検します。



チェックポイント

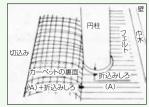
細部の施工

◎巾木回り

きりの先端で巾木を傷つけないように、注意しながらしごいて仕上げます。

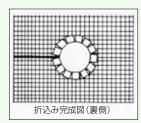
◎部屋または廊下に柱がある時

●柱回りのフェルトは折込みしろだけあけます。



- ●カーペットは柱の 手前で壁面と平行 に裏返します。
- ●円柱の芯に合わせ て刃物でカーペッ トに切込みを入れ ます。
- ●カーペットを柱を抱くように広げて柱回りを見るので、図形に切りを可に 図形に 切込み柱回りに 当時の 切込みは の切込 かせまいと、次の折込た ないと、 で柱に沿いてく ()間ができます。





◆柱回りを折込み仕立てます。

ロールカーペット / ボーダー回し(島)

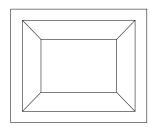
施工手順

- 動り方向・取り合わせを検討し、割付けます。 (P.42参照)
- グリッパーを取付け、フェルトを敷込みます。
- ③ ジョイント部分をシーミングテープまたは縫込み を行います。
 - ●特にウイルトン、アキスミンスターカーペットでは、歩行量 の多い場所では縫込みをするのが望ましい。

注意

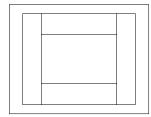
- ●ウイルトン、アキスミンスター、タフテッドなど種類の異なる ロールカーペットの貼合わせは避けてください。 (同じ規格、製法で製造されたロールカーペット以外は貼り 合わせることができません。)
- ② フィールド部分の周囲を囲むようにボーダー部分 を納めます。

[ウイルトン、アキスミンスターカーペット]



45度の角度で「とめ」で施工 します。

[タフテッドカーペット]



強度をもたせるため、縦か横の 直線ジョイントで施工します。

●柄物のカーペットの場合、フィールド部とボーダー部の柄リ ピートは合いません。

ハノーク カーペットの施工

施工上の特性

- ◎水捌け用のV字溝、および段差等は、事前に下地補修材等で補修し、出来るだけ表面を平滑にします。
- ◎クラック防止の誘発目地やブロック状のコンクリートの目地に柔らかい目地材が詰められていること がありますが、セメント系の下地補修材での補修はできないので、同質の材料かウレタン系のコー キング剤でレベルを出してください。ただし、後日その部分に凹みや膨れが発生する可能性があり ますが、現行の技術では凹みや膨れを解消する方法はありません。
- **◎ハノーク カーペットに防水性能はありません。下地防水の必要な部位は事前に防水処理をしてくだ** さい。
- ◎塗膜防水の表面にフッ素系の仕上げ材が施されている場合、充分な強度が得られないので事前にご確 認ください。

施工手順

施工の流れは「ロールカーペット / 全面接着工法(P.100) | をご参照ください。

- 1 貼り方向・取り合わせを検討し、割付けます。 ※ジョイントの少ない長手方向に敷込むことを基本とします。
- 2 カーペットの仮敷き。 ※巻き癖やしわを充分に伸ばしてください。
- る 接着剤の塗布・カーペットの貼込み USセメントまたはエポグレーSTを塗布します。 ※塗布量は500g/m²程度となります。

注意

●カーペット貼込みの際は、ジョイント部は特に隙間の生じない ようにしてください。 接合部に隙間ができたときはニーキッカーなどで柄合わせ

4 圧着

ローラー等により圧着を行います。 特に接合部は充分に圧着します。

を行いながら貼付けます。

5 端部処理

壁際の納めは跳ね上がり、膨れ、隙間がないように注意しま す。跳ね上がりや膨れが見られた場合は、無理に押さえ込 まずカットし直します。

6 養生

接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、接着 強度が出るまで48時間以上養生期間をとります。 必要に応じて養生シートで養生します。

[見切り材の貼付け]

室外機の排水は「NSパス蓋付き」を使用しておさめます。 「NSパス蓋付き」はP.81をご参照ください。

- ・下地に接着剤を塗布し、貼付けます。
- ・カーペットとNSパス蓋付きは突付けで施工してください。

注意

海岸付近で使用される場合は、潮風による影響を受けて パイルの劣化が早まる場合があります。

●雨、雪等で製品表面が濡れている場合や、ゴミ・塵等で 表面が汚れている場合、冬季に製品表面が凍結している 場合は、滑りやすくなりますので、歩行は特に注意してく ださい。

繊維製品ですので、歩行による外力・水分・温度等の影 響により早く劣化する場合があります。

●駐車場やガレージ、駐輪場等では製品への負荷が大きい ため使用しないでください。ご了承ください。

ロタ

4. 巾木の施工(ソフト巾木・ロング巾木・スタイル巾木・ササラ巾木)

施工上の特性

- ◎通常、壁面・床面の施工完了後に施工します。立面施工のため、接着剤が垂れるおそれが ありますのでご注意ください。垂れると施工の妨げや床材・壁面の汚れにつながります。 (立ち上がり面での垂れが少ない巾木専用の接着剤をご使用ください。)
- ◎ビニル素材のため、温度差で伸び縮みしやすくなります。
- ◎細長い形で幅があるため、床の不陸に追随しにくくなります。
- ◎指定接着剤は「巾木糊」「エコLX巾木糊」、出隅部分には「CRセメント」を使用します。 出隅以外にCRセメントを使用しないでください。
- ◎スタイル巾木の指定接着剤は「巾木糊」を瞬間接着剤と併用して使用します。
- ◎「巾木糊」「CRセメント」は火気厳禁です。トーチランプの使用は避けてください。

下地材	下地処理
石膏ボード、合板、 珪酸カルシウム板	ビス頭は防サビ処理し、パテ (仕上用)処理後、サンダー掛けを行って平滑に仕上げます。 パテ部にはシーラー処理を行います。
モルタル下地 コンクリート下地	未乾燥の場合には、充分に乾燥させてください。 粉ふきが見られる場合はシーラー処理を行ってください。
壁紙	裏打紙まできれいに剥がしきり、パテ・サンダーで平滑に仕上げ、シーラー処理を行います。
塗料下地	塗料にはアクリル・ウレタン・エポキシなど、多品種あり、接着剤との組み合わせで接着強度が出ないことがあります。基本的には施工前に塗料を除去してください。
その他	下地の種類に合わせて、適切な下地処理を行ってください。

- ※下地の不陸(凹凸)、ひび割れ等の不具合があるとその部分が製品表面に影響を及ぼすことがあります。必ず下地は平滑に仕上げて ください。
- ※粉ふき下地でシーラー処理が不充分な場合、接着剤の接着強度が発現せずに巾木が浮く可能性があります。
- ※塗料下地を剥がすことが困難な場合、どこか適当な場所を選び、サンダーで軽く荒らして下地を整え、塗料と同じ樹脂系接着剤で 試験的に貼付け、接着に問題がないか確認してください。問題なければ、塗料が下地から浮いている箇所を剥がして、パテ・サンダー で平滑に仕上げ、浮きが発生していない箇所の表面もサンダーで軽く粗らして処理を行い、施工してください。

ソフト巾木・ロング巾木の施工

施工手順

● 下地が平滑、堅牢で、乾燥していること、床面と 壁面が直角に交わり、不陸、不揃いがなく、蛇行 や突起のないことを確認します。

水・油脂類および不適当な接着剤が塗布、含有されていない ことを確認します。

② 巾木の天端位置から約5mm下げて、墨出し線を設 定します。この墨出し線より下の壁紙をカットして 剥がします。くし目ごてで巾木専用の接着剤を均 一に塗布してください。





壁紙が多く残っていると、巾木の接着不良や上部に隙間が生じ るおそれがあります。



くし目ごてについて

くし目ごては巾木の幅より5mm小さいものを用いると塗 布しやすくなります。接着剤による床面と壁面の汚れ に注意しながら、くし目を立てて塗布してください。

① 巾木の貼り出しは入隅部分からが基本です。 床の不陸になじませながら貼付けていきます。



切込みが必要な時は、あらか 入隅の「袴」部分はコーナー じめ必要な寸法にカットしてお の角度に応じて重なる部分を き、入隅から貼り始めます。



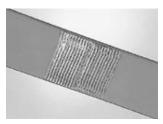
カットして取り除きます。



入隅部の貼付け後、次の巾木 を順々に突付けて、床の不陸 になじませながら、充分圧着し て貼付けます。ケース単位で 順々にカット面を突き合わせる ように貼ります。巾木と床面に 隙間ができるようなら、ドライ ヤーなどで巾木を温めてなじ ませてください。

4 出隅の施工は、温めながらゴム系溶剤形接着剤 (CRセメント)を使用します。





- ①出隅部および出隅部にくる巾木の両面に5cm程ゴム系溶剤形接 着剤 (CRセメント)を塗布します。
- ※巾木が角に当たる部分の裏面に深さ 1mm程度の溝を削り取っておくと 折り曲げやすくなります。





②巾木をドライヤーなどで温めながら貼付けます。



③貼付け後はすぐに濡れタオル ④ハンドローラーで圧着してく (雑巾)で冷やします。



ださい。

注意

●ゴム系溶剤形接着剤(CR セメント)を全面に使用すると後 日縮むおそれがあります。出隅部での使用はできるだけ小面 積にしてください。

⑤ 仕上げ

巾木表面に付着した接着剤は硬化する前に取り除いてください。

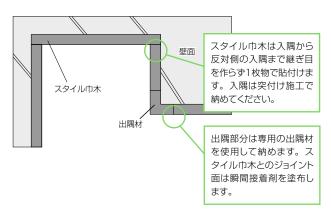


硬化した接着剤は鋭利な刃物で 大方を削り取り、残りを水または アルコールで軽くぬぐうようにし て取り除きます。

🜀 接着剤などによる汚れや剥がれ、浮き、隙間がな いかをチェックします。

施工手順

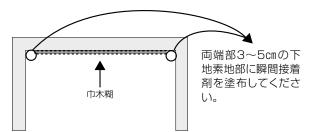
納まり図(上から見た図)



🚹 割付け (墨付け) 「仕上がり高さ(巾木の上端位置)」から3mm程度下 に接着剤の塗布基準線を入れます。

巾木下部R部分は、軟質配合で下地不陸にもなじむ設計 となっています。しかし、下地不陸が大きい場合やカー ペット施工後の施工の場合には、貼出し墨をご考慮くだ さい。R部分の仕上がりが直線にならず、見苦しくなる 場合があります。

② 接着剤の塗布・貼付け 指定接着剤「巾木糊」を塗布し、スタイル巾木を 貼付けます。



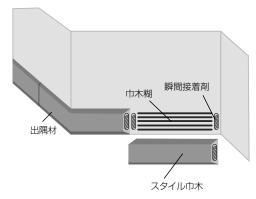
注意

スタイル巾木は、厚手巻物となっていることから、冬の 気温が低い時期は、強い巻き癖が出ます。

施工に先立ち、逆巻きするなどした上、表面が焦げない ように注意してヒーターなどで加温し、巻き癖を取りな がら施工してください。

③ 出入隅の施工

出隅材とスタイル巾木とのジョイント部の納めは、出隅材の断 面および裏面に瞬間接着剤を塗布し納めます。やむを得ずスタ イル巾木を平場でジョイントする場合にも同様に施工します。 入隅部は45度カットが困難なため、突付けで納めます。



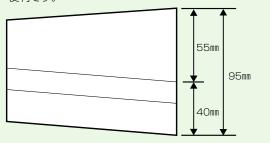
- ·入隅の20mm程度に瞬間接着剤を塗布します。
- ・出隅の断面に瞬間接着剤を塗布します。

メモ

スタイル巾木をカットする場合にはモールカッターを 使ってカットすると容易に直線が出ます(P.114参照)。

② 隙間および継ぎ目はシーリングで仕上げます。 色の近いシーリング剤を使用してください。

●巾木糊の塗布は巾木糊用のプラスチックハケを使うと 便利です。

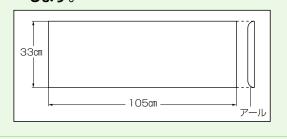


巾木糊用ハケの内側折り目でカットし、40mm巾の方 を使用してください。

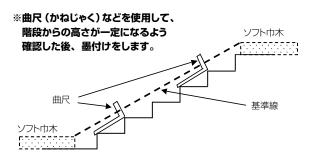
ササラ巾木の施工

施工手順

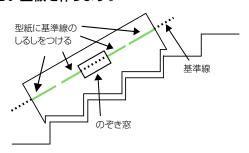
- ○「ササラ巾木」の施工は、他の床材工事より先に行う必要があります。 (ノンスリップ金具の取付け、蹴込み・踏面の床材施工は、後で行うことが好ましい。)
- ○ササラ巾木は105cm×33cmで上下の 耳部にアール (丸味)がついています。 このアールのあるふちを巾木の上端と します。



①「ササラ巾木」の後で施工されるソフト巾木との取り合いを見ながら、ササラ巾木の貼り上がり上端線を基準線として墨付けします。

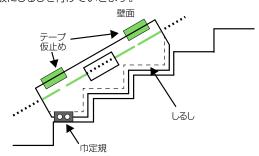


② 壁面に墨付けした基準線が隠れる大きさのベニヤ 板またはダンボール紙で階段実寸より15mm程度 小さい型板を作ります。

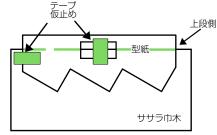


型板を階段に当て、壁面の書かれた基準線の通過位置を型板に しるします。型板の長さは 1m 程度。 ・
留 階段線を型板にしるします。

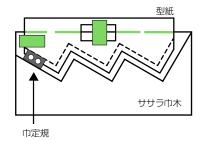
型板の基準線を下地の基準線に沿わせて、型板を壁面にテープで仮止めし小さな巾定規またはけがき棒を使って階段線を型板にしるしを付けていきます。



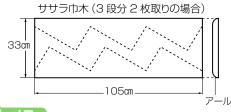
4 しるされた型板をササラ巾木の上段側、端のアール線に基準線を合わせてズレないように仮固定します。



⑤ 次に、しるした時に使った巾定規またはけがき棒を型板のしるしに沿わせて階段線を巾木側に書き、その線に沿って切込んでください。



⑤ 以後の階段も同様の方法で行います。通常の階段 なら1枚のササラ巾木から2枚(6段分)とれます。



メモ

●型板をとる方法以外に、ササラ定規を用いることもできます。

防汚抗菌ワイド巾木の施工

施工上の特性

◎福祉施設・病院・幼保施設・公共施設などで車イスや配膳車などの搬送による、壁面の傷付 きなどを保護するための巾木です。

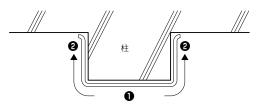
施工手順

- が汚抗菌ワイド巾木を施工します。
 - ※ Rナシタイプは床材を施工する前に施工します。(先付け施工)
- 🙆 巻き癖や温度変化による伸縮を防ぐため、あらか じめ現場に仮敷きし、環境になじませてください。
- 🔞 巾木糊・エコLX巾木糊を用い、入隅部分から貼っ ていきます。

4 出隅の壁面および出隅部にくる防汚抗菌ワイド巾 木に、5cm幅程度でCRセメントを塗布します。防 汚抗菌ワイド巾木をドライヤーで温めながら貼付け ます。

柱等の出隅部分は、下図のように貼り広げます。出隅の壁面、 ならびに出隅部にくる防汚抗菌ワイド巾木に5cm幅程度でCR セメントを塗布します。

その後、防汚抗菌ワイド巾木をドライヤーで温めながら貼付け ます。



- ●出隅以外には CR セメントは使用しないでください。
- ●巾木糊・CR セメントは火気厳禁。 トーチランプは使用しないでください。
- ⑤ 貼付け後、すぐに濡れタオル (雑巾) で冷やし、 ハンドローラーでムラなく圧着します。

腰壁シートの施工(東リ防汚消臭腰壁シート・東リ不燃腰壁シート)

施工上の特性

◎建築基準法に定められた内装制限がかかる場所への施工

東リ 防汚消臭腰壁シート: 建築基準法に定められた内装制限を満たしていない場合 (スプリンクラーが設置されていない通路など) は施工できません。必ず建物の確認を行ってください。 制限を除外する処置が必要です。所轄の特定行政庁にご確認ください。

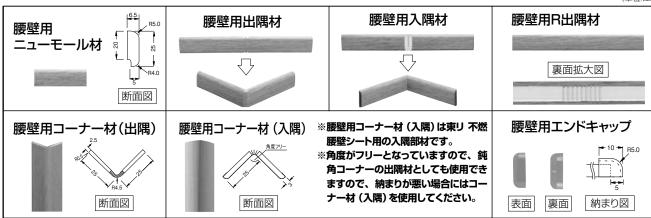
東リ 不燃腰壁シート: 大臣不燃認定を取得しておりますが、各地域の条例や担当消防署の 見解を必ず建物ごとにご確認ください。

- ◎モール材施工の際は、水平に合わせて正確に貼付けてください。また、仕上りに直線が要求されるため、充分にご注意ください。2人組みでの貼付作業をおすすめします。
- ◎長尺のものを運搬する際は2人以上で持ち、材料のたわみを最小にしてください。
- ◎東リ 不燃腰壁シートはコシが強くシワが発生しやすいため折り曲げないよう丁寧に扱ってください。 施工時は直角に近い出隅・入隅ではシートの縁を切り、各部材でジョイント部を覆い隠すように施工してください。 大きなR角や鈍角コーナーでは事前にシワの具合をご確認いただきシートを施工してください。

部材



(単位:mm)



品名	腰壁用ニューモール材	腰壁用出隅材	腰壁用入隅材	腰壁用R出隅材	腰壁用 コーナー材(出隅)	腰壁用 コーナー材(入隅)	腰壁用 エンドキャップ
厚み	6.5mm	6.5mm	6.5mm	6.5mm	2.5mm	3.0mm	8.Omm
寸法(幅×長さ)	25mm×2000mm	25mm×200mm	25mm×200mm	25mm×300mm	25mm×25mm ×1200mm	25mm×25mm ×1200mm	28mm×10mm
備考				裏面にタテミゾあり (20R~40Rに対応)		東リ 不燃腰壁 シートに使用	腰壁用ニューモール材の 断面隠し補助材

下地条件

下地材	下地処理		
石膏ボード、合板、	ビス頭は防錆処理し、パテ (仕上用) 処理後、サンダー掛け		
珪酸カルシウム板	を行って平滑に仕上げる。パテ部にはシーラー処理を行う。		
モルタル下地	未乾燥の場合には、充分に乾燥させる。		
コンクリート下地	粉ふきが見られる場合はシーラー処理を行う。		
壁紙	裏打紙まできれいに剥がしきり、パテ・サンダーで平滑に仕		
土水	上げ、シーラー処理を行う。		
	下地から浮いている箇所は剥がしきり、パテ・サンダーで平		
塗料下地	滑に仕上げる。浮きの発生していない箇所も表面をサンダー		
	で軽く荒らしてから、全面にシーラー処理を行う。		
その他	下地の種類に合わせて、適切な下地処理を行う。		

- ※東リ 防汚消臭腰壁シートの厚みは 1.0mm、東リ 不燃腰壁 シートは 0.5mmと薄いため、下地の不陸(凹凸)、ひび割 れ等の不具合があるとその部分が表面に出ます。必ず下 地は平滑に仕上げてください。
- ※シーラー処理が不充分な場合、接着剤の接着強度が発現 せず、腰壁シートが浮く可能性があります。部材の両面 テープが貼付けられる箇所も同様です。
- ※油性マジック等が残っていると施工後しばらくして腰壁シート表面に浮き出てきます。必ず除去してから施工してください。

施工手順

施工の流れ

下地の点検 清掃

割付け

墨出し (1回目)

両面テープ の貼付け

腰壁シート の貼付け

墨出し (2回目) 腰壁用部材 の貼付け

ソフト巾木 の貼付け

1 割付け

「仕上り高さ(腰壁用ニューモール材の上端位置)」 を設定し割付けます。

注意

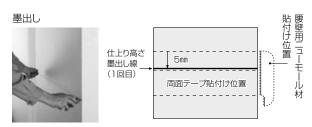
- ・出入口やドア周り、出隅・入隅等を考慮してください。
- ※ジョイントは平場に持ってこないよう割付けます。 木目柄のジョイントは色の濃淡が目立つことがありますの で、ジョイントはできるだけ避けてください。 また、150mmピッチ、310mmピッチの板目柄も入ってい ますのでご注意ください。
- ・巻き癖を取るため、また、温度による収縮を防ぐために、 必ず仮敷してください。

チェックポイント

不燃腰壁シート: 出隅・入隅の割付け

不燃腰壁シートは、特性上シワが発生しやすいため直角に 近い出隅・入隅ではシートの縁を切り、各部材でジョイント 部を覆い隠すように施工してください。大きなR角や鈍角 コーナーでは事前にシワの具合を確認いただきシートを施 工していただくようお願いいたします。

2 墨出し(1回目) 仕上り高さより5mm低い位置に水平の墨出しをします。



※壁紙が施工されている場合には墨出し線より2mm程度上側でカッ トし、裏打紙まで剥がしてください。

③ 捨て糊

下地と両面テープとの接着力を高めるため、両面テープを貼 付ける箇所に必ず合成樹脂系接着剤 (エチレン酢ビ系ボンド 等)を1~2割の水で希釈して、ハケ等で均一に塗布します。

4 両面テープ (腰見切用両面テープWU-TAPE-15) の貼付け

墨出し線に沿って腰見切用両面テープを貼付け、ローラーを 用いて充分に圧着してください。





両面テープの貼付け

⑤ 腰壁シートの貼付け

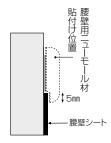
- ①エコAR600をくし目ごてでできる限り縦目に揃えながら 均一に塗布します (塗布量:約300g/㎡)。出隅部に貼 り回す場合はCRセメントを出隅から10cm程度塗布します (両面塗布)。
- ②腰壁シートを両面テープ下側に突付けて貼付け(両面テー プに重ならないよう注意してください)、スキージ、ローラー しごき棒等でエア抜きと圧着を行います。なお、モール材 の下側に5mmの「隠しシロ」を設けてあり、多少のラフ施工 が可能です(下図参照)。入隅を地べラ等で押さえ込み、パー キリ、カッターナイフ等でカットして納めてください。
 - ※腰壁シートは入隅を突き気味に施工すると膨れが生じやすくな りますのでご注意ください。



エコAR600の塗布







- ③腰壁用コーナー材を使用する場合は出隅から5mm程度を残して、平面部のみ施工してください。出隅部に貼り回す場合は、CRセメントを使用しドライヤー等で加熱しながら納めます。加熱しすぎると光沢ムラが生じますので注意してください。
 - ※クシ目の立ったハケは使用しないでください。
 - ※出隅部分の腰壁シート裏面にスジを入れ、折り曲げて型を取っておくと施工しやすくなります(室温が低い場合には、温めた方がより効果的です)。
- ④やむを得ず平場でジョイントを行う場合には重ね切りします。 下地を傷めないよう必ず下敷きを使用してください。継目処理はスーパーシーム液を注入してください。
 - ※接着剤やシーム液がはみ出した場合には、エタノール等を用いて素早く拭き取ってください。
 - ※腰壁シートを表側からカットする場合、不織布層まで完全にカットせず無理に引っ張ると、不織布の毛羽立ちや剥がれが発生することがありますので、必ず裏面まで完全にカットしてください。





ジョイントの重ね切り

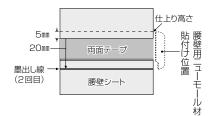
スーパーシーム液の注入

6 墨出し(2回目)

両面テープの最上部 (1回目の墨出し線)より20mm低い位置に水平の墨出しを行ってください。

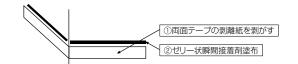
- ※腰壁シートの表面に墨出しを行います。そのため、施工後に拭き 取れるように必ずチョークリールを用いてください。
- ※腰壁用ニューモール材の仕上り 高さは、両面テープの上部より 5mm高い位置になります。





はじめに、腰壁用出隅材・腰壁用入隅材・腰壁用R出隅材等を貼付けます。

両面テープの上部壁面にゼリー状瞬間接着剤を塗布し、2回目の墨出し線に沿って各部材を貼付けてください(下図参照)。腰壁用R出隅材はドライヤー等で温めると貼付けしやすくなります。







腰壁用出隅材の貼付け

腰壁用入隅材の貼付け

次に腰壁用ニューモール材 (2000mm長さ)を必要な 寸法に正確にカットし貼付けます。

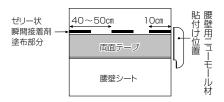
ゼリー状瞬間接着剤は、40~50cm間隔に対し10cm長さを目安に塗布してください(短くカットした場合には全面塗布)。はみ出したゼリー状瞬間接着剤はすぐに拭き取ってください。





腰壁用ニューモール材のカット ゼリー状瞬間接着剤の塗布

モールカッターを用いると 簡単かつ、きれいにカットできます。



注意

- ●腰壁用ニューモール材の両端には必ずゼリー状瞬間接着剤を 塗布することとし、さらに、腰壁用ニューモール材と腰壁用 ニューモール材の継ぎ目(断面部)にもゼリー状瞬間接着剤 を塗布して接着してください。はみ出したゼリー状瞬間接着剤 はすぐに拭き取ってください。
- ●木目柄の腰壁用ニューモール材は構成上、単色(プレーン) より若干硬くなっております。特に低温時の出隅部の施工に 際しては、ドライヤー等で温めながら施工してください。

チェックポイント

長手の腰壁用ニューモール材を貼付ける場合、腰壁用ニュー モール材下側に50cm以上で厚みのある直線定規をあてがい ながら貼付けていくと直線が出しやすくなります。



腰壁用ニューモール材の 貼付け

● 2人ペアでの作業をおす すめします。



🔞 腰壁用コーナー材の貼付け

腰壁用出隅材下部から床面までの長さを正確に測り、腰壁用 コーナー材をカットします。

腰壁用コーナー材の角度を出隅の角度に調整し、USセメント とゼリー状瞬間接着剤を併用して貼付け、必要に応じて隠し 釘等を使用してください。

※腰壁用コーナー材上部を腰壁 用ニューモール材下部の「隠 しシロ」にのみ込ますことはで きません。

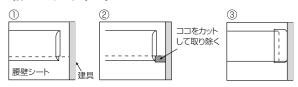


腰壁用コーナー材の 貼付け

᠑ 腰壁用エンドキャップの貼付け

腰壁用ニューモール材が建具等より厚い場合などでは、腰壁 用ニューモール材のカット面を隠すため、腰壁用エンドキャッ プを使用します。

- ①両面テープおよび腰壁用ニューモール材を、建具等から7 ~ 8 mm を残して貼付けます (下図①)。
- ②腰壁用ニューモール材下部に沿って腰壁シートをカットして 取り除いてください(下図②)。
- ③腰壁用エンドキャップを、ゼリー状瞬間接着剤で接着してく ださい (下図③)。
- ※腰壁用エンドキャップには腰壁用ニューモール材の「隠しシロ」を 設けてあります (5mm)。



10 ソフト巾木の貼付け

腰壁シートの上にソフト巾木を重ね貼りする場合はUSセメン トを、腰壁シートの下端が少しソフト巾木に重なる程度で下地 に直接貼付ける場合は巾木糊を使用します。出隅はCRセメン トで両面塗布し納めます。

なお、腰壁用コーナー材を用いた場合には、ソフト巾木は腰 壁用コーナー材に突付けて貼付けてください。





USセメント塗布 (巾木重ね貼り)

ソフト巾木の貼付け

11 ウッドデコークの注入

腰壁シートの入隅や腰壁用ニューモール材の継ぎ目等、スキ マの発生した箇所にウッドデコークを注入してください。 なお、腰壁用ニューモール材上部に発生したスキマは、壁材 (壁紙・ペンキ等)の色に合わせたコーキング剤の使用をお すすめします。

12 清掃

腰壁シートや腰壁用ニューモール材に付着した汚れをきれい に拭き取ってください。接着剤が付着した場合は、エタノー ル等を用いて拭き取ってください(ソフト巾木の表面は色落ち するためエタノール等は使用しないでください)。

モールカッター



● 販 売 元: (株)ツールタウン

問合せ先: (TEL) 06-6748-2022

● 品 **番**: JMC-450

腰壁シートの施工(ファブテック腰壁)

ファブテック腰壁の施工方法は基本的には東リ 防汚消臭腰壁シートと同じです。詳細はP.111「腰壁シートの施工」をご参照ください。

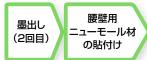
施工上の特性

- ◎建築基準法に定められた内装制限を満たしていない場合(スプリンクラーが設置されていな い通路など) は施工できません。必ず建物の確認を行ってください。
- ◎モール材施工の際は、水平に合わせて正確に貼付けてください。また、仕上りに直線が要求 されるため、充分にご注意ください。2人組みでの貼付作業をおすすめします。
- ◎施工時に、ドライヤー等で加熱しすぎると光沢ムラが生じますのでご注意ください。

施工手順

ファブテック腰壁部材の施工手順は前出「腰壁シートの施工」と異なります。

- ※墨出し(2回目)までの施工手順は腰壁シートと同様です。
- ・東リ 防汚消臭腰壁シート ・東リ 不燃腰壁シート



腰壁用コーナー材・ エンドキャップの 貼付け

ソフト巾木の 貼付け

ウッドデコーク の注入

清掃

ファブテック腰壁

墨出し (2回目) ファブテック モール材の 貼付け

ファブテック巾木 の貼付け

ファブテック コーナー材の 貼付け

シーリング剤 清掃 の注入

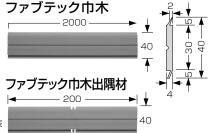
チェックポイント

巾木糊を壁面に塗布し、ファブテック腰壁の下端をファブテック巾木上側の「隠しシロ」に 納めながら、ファブテック巾木を下地に貼付けてください。なお、ファブテック腰壁表面 にファブテック巾木を重ね貼りする場合はUSセメントを使用してください。

コーナー部の納まり

東リ 防汚消臭腰壁シート・東リ 不燃腰壁シート(右) ではコーナー材は床面まで入りますが、ファブテック腰 壁(左)ではファブテック巾木の上端部までとなります。





ファブテック巾木

ファブテック腰壁は専用のファブテック巾 木を使用します。そのため、施工順序と

コーナー部の仕上がりの納まりが前出腰

※その他部材の規格等は東リ総合カタログまた

壁シートと異なります(下図)。

は弊社サンプル帳でご確認ください。





1 割付け (墨付け)、養生

「仕上り高さ(巾木の上端位置)」から3mm程度下に接着剤の塗 布基準の線を入れます。

ファブテック巾木下部 B 部分は、軟質配合で下地不陸にもなじ む設計となっておりますが、下地不陸が大きい場合やカーペッ ト施工後の後付け施工の場合には、貼出し墨をご考慮ください。 R部分の仕上りが直線にならず、見苦しくなる場合があります。

② 糊入れ

基準線より下に巾木糊を巾木糊用ハケで均一に塗布してくだ さい。また、適切な待ち時間(目安は5分)を取り、必ず指 触によるタックの確認を行ってください。

③ ファブテック巾木貼付け

初めにファブテック巾木出隅材と入隅材を貼付けてください。 次に、ファブテック巾木も同様に貼付け、製品継ぎ目(断面) にはゼリー状瞬間接着剤を塗布してください。

チェックポイント

ファブテックコーナー材の貼付け

モール出隅材下部からファブテック巾木上部までの長さを 正確に測ってください。ファブテックコーナー材を任意の サイズにカット後、角度を出隅の角度に調整してから、US セメントとゼリー状瞬間接着剤を併用して貼付け、必要に 応じて隠し釘等を用いてください。

※ファブテックコーナー材上部をファブテックモール材下部の「隠し シロ」に飲み込ますことはできませんのでご注意ください。

隙間および継ぎ目のシーリング仕上げ

ファブテックモール材やファブテック巾木の継ぎ目等、スキ マの発生した箇所には、色の近いシーリングを注入するこ とをおすすめします。

※シーリング剤は、市販のシーリング剤をお使いください。

5. 床暖房システムの構造と床材施工

床暖房下地へ床材を施工することは、多くの問題点や注意点があり、最も困難な施工の1つです。

特に埋設型床暖房システムへの床材施工は、下地による要因が大きく、施工方法等に最大の注意が必要となります。

床暖房使用による温度変化が引きおこす下地の伸縮や床材の伸縮が繰り返されることや、下地の水分が一気に上昇すること、

また、床暖房下地と非床暖房下地の温度差や下地表面に入るクラック、そのクラックに対する補修方法等の問題点が挙げられます。 しかし、これらの問題点を解決する確実な方法はありません。

事前加熱や下地処理を行っても、多少の問題が発生することをご理解ください。

ここでは、弊社が推奨する、トラブルを最小限に抑える為の施工方法について解説します。

床暖房システム構造図

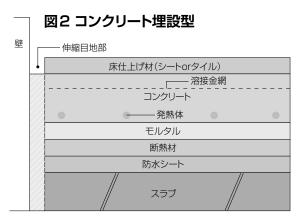
◎パネル型床暖房

図1パネル型



- ◎東リ製品を施工する際は、厚み12mm以上の合 板を捨貼りした下地が標準になります。パネル ヒーターの上だけではなく、合板などの副資材 の上にも同様に捨貼りが必要です。
- ◎捨貼合板に、段差や目地スキがあった場合は、 サンダーで段差を削り適切なパテを使い、平滑 な面に補修してから施工してください。
 - ※パネルヒーター製造元の施工要領書がある場合は、 それに従ってください。

○コンクリート埋設型床暖房



- ◎床材を施工する前に、HI-520-2型 D.MODE で440未満(=グレード I 水分指標8%以下)を 目安に、使用温度+5~7℃程度で事前加熱を 行い、クラックを充分に発生させてください。
- ◎クラックの目安としてO.3mm未満のクラックは 補修せず、段差をサンディングした上で施工し
- ◎ 0.3~1mmのクラックは、低粘度タイプのクラッ ク補修材、1mm以上のクラックについては中粘 度タイプのクラック補修材で補修してください。 補修の際は、クラック沿いに幅3mm×深さ5mm 程度の溝切りを行い、クラック処理を施してく ださい。この時のクラック処理は、加温状態で 行ってください。
- ◎伸縮目地や誘発目地、カッター目地部には床仕 上げ材を施工しないでください。

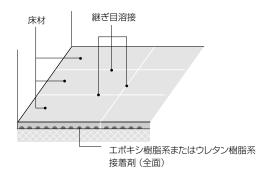
床材施工方法

床材を施工する際、総合的に判断し、以下の工法よりどの工法で施工するか決めなければなりません。 ビニル床シートを施工する場合、弊社は全面接着工法を推奨します。 額縁貼り工法は、全面接着工法ができない時の次善の工法と考えています。

1)全面強接着工法

エポキシ樹脂系接着剤またはウレタン樹脂系接着剤による全 面強接着で仕上げる方法。

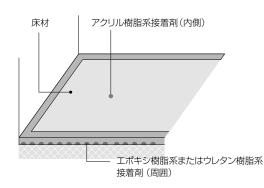
下地の伸縮による影響を受けやすく、みみず腫れや膨れ等のトラブルが起きやすいが、重歩行エリアやキャスターの動荷重がかかる場所に適しています。



2)額縁貼り工法

周囲をエポキシ樹脂系接着剤またはウレタン樹脂系接着剤による強接着で、内側をアクリル樹脂系接着剤による弱接着で 仕上げる方法。

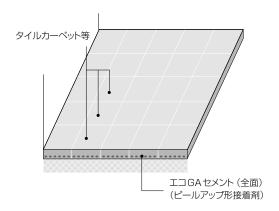
長尺シートを施工するにあたり、下地に発生したクラックが多い場合や補修困難な場合に採用します。しかし、耐久性に劣るため、ホール、廊下、通路等の重歩行エリア、キャスターによる動荷重が常時加わる場所、複数枚の長尺シートを継ぎ合わせるような広い場所での工法には適しません。



3) ピールアップ工法

エコGA セメント (ピールアップ形接着剤) を使用した全面接着工法。

タイルカーペット等の限られた製品に適します。



床仕上げ材別施工方法と注意点

ビニル床タイル・ビニル床シート

注意

■パネル型床暖房の注意点

- ◎捨貼り合板のジョイント部に段差がある場合は、サンダーで削り段差 をなくしてください。また、ジョイントに隙間がある場合は、適切な パテで補修してください。
- ◎タイルおよびシートは早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして 仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工してください。
- ◎合板のジョイントとタイルおよびシートの目地が重なり合わないよう に施工してください。下地が非吸水下地である為、充分なオープン タイム (待ち時間)を取り、貼付け後入念に圧着を行ってください。
- ◎タイルを貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め(名刺1枚 程度)に施工してください。また、シートの目地は溶接工法とし、 溶接作業は養生終了後に行ってください。(CFシートの目地につ いては、東リシーム液による継目処理を行ってください。)
- ◎メンテナンスは、養生終了後、樹脂ワックスを塗布してください。

■コンクリート埋設型床暖房の注意点

- ◎充分な事前加熱ができており、下地水分がD.MODEで440未満(グ レード I 水分指標8%以下) であることを確認してください。
- ◎クラック等補修した箇所に異常がないか点検し、下地が平滑である ことを確認してください。
- ◎部分的に床暖房が施工されており、床暖房下地表面と床暖房の施工 されていない下地表面の温度差が15℃以上ある場合は、その差が 15℃以下になるように環境設定してから、床材の施工を開始してく ださい。
- ◎タイルおよびシートは早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして 仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工してください。
- ◎タイルを貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め(名刺1枚程 度)に施工してください。また、シートの目地は溶接工法とし、溶接 作業は養生終了後に行ってください。(CFシートの目地については、 東リシーム液による継目処理を行ってください。)
- ◎メンテナンスは、養生終了後、樹脂ワックスを塗布してください。

施工温度条件	冬季施工	床表面温度20℃以下の場合には、床暖房を入れ、 床表面温度20℃程度に加温してから床材を施工する。	
	夏季施工	床暖房を切った状態で施工する。	
接着剤および工法		*接着剤:エポグレーS、USセメント 工法:全面接着工法	
養生条件		施工後2日間は、施工時の温度を保った状態で養生する。	

- *1 エポグレー Sは、イークリンプレミアNW には使用できません。USセメントをご使 用ください。
- *2バスナリアルデザイン、バスナフローレ、 バスナアルティは床暖房上に施工する場 合バスナセメントEPOをご使用ください。

タイルカーペット・東リファブリックフロア・LAYフローリング

注意

■パネル型床暖房の注意点

- ◎捨貼り合板のジョイント部に段差がある場合は、サンダーで削り段 差をなくしてください。また、ジョイントに隙間がある場合は、適 切なパテで補修してください。
- ◎製品は早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして仮敷きを行い、 現場の温度と馴染ませてから施工してください。
- ◎合板のジョイントとタイルの目地が重なり合わないように施工してく ださい。
- ◎下地が非吸水下地や捨貼り合板(非吸水下地)である為、充分なオー プンタイム (待ち時間)を取り、エコGA セメントが半透明になって から貼付けを行い、その後入念に圧着を行ってください。
- ◎製品を貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め(名刺1枚程度) に施工してください。
- ◎タイルカーペット用アンダーレイシートを使用する際は、床面とアン ダーレイシートの接着はエポグレー SまたはUSセメントによる全 面接着工法にて施工してください。
- ◎アンダーレイシートを使用しますと、暖房効率が低下します。

■コンクリート埋設型床暖房の注意点

- ◎充分な事前加熱ができており、下地水分がD.MODEで440未満 (グレード I 水分指標8%以下)であることを確認してください。
- ◎クラック等補修した箇所に異常がないか点検し、下地が平滑であ ることを確認してください。
- ◎部分的に床暖房が施工されており、床暖房下地表面と床暖房の 施工されていない下地表面の温度差が15℃以上ある場合は、そ の差が15℃以下になるように環境設定してから、床材の施工を 開始してください。
- ◎製品は早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして仮敷きを行 い、現場の温度と馴染ませてから施工してください。
- ◎製品を貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め(名刺1枚程 度)に施工してください。
- ◎タイルカーペット用アンダーレイシートを使用する際は、床面とア ンダーレイシートの接着はエポグレー SまたはUSセメントによる 全面接着工法にて施工してください。
- ◎アンダーレイシートを使用しますと、暖房効率が低下します。

施工温度条件	冬季施工	床表面温度20℃以下の場合には、床暖房を入れ、床表面温度20℃程度に加温してから床材を施工する。		
	夏季施工	床暖房を切った状態で施工する。		
接着剤および工法		*接着剤:エコGAセメント 工法:全面接着工法		
養生条件		粘着を利用したピールアップ工法であるため、施工後の養生は不要。		

*LAYフローリングは床暖房上に施工する場合、LAYセメントをご使用ください。

ロールカーペット

注意

■パネル型床暖房の注意点

- ◎全面接着工法の場合、捨貼合板のジョイント部に段差がある場合は、サンダーで削り段差をなくしてください。また、ジョイントに隙間がある場合は、適切なパテで補修してください。
- ◎カーペットは早めに開梱し仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工してください。
- ◎全面接着工法の場合、合板のジョイントとカーペットの目地 が重なり合わないように施工してください。
- ◎全面接着工法の場合、下地が非吸水下地である為、充分なオープンタイム(待ち時間)を取り、貼付け後入念に圧着を行ってください。
- ◎グリッパー工法の場合、アンダーフェルトを使用しますと、 暖房効率が低下します。

■コンクリート埋設型床暖房の注意点

- ◎全面接着工法の場合、充分な事前加熱ができており、下地水分がD.MODEで440未満(グレードI水分指標8%以下)であることを確認してください。
- ◎全面接着工法の場合、クラック等補修した箇所に異常がないか点検し、下地が平滑であることを確認してください。
- ◎全面接着工法の場合、部分的に床暖房が施工されている場合や床暖房下地表面と床暖房の施工されていない下地表面の温度差が15℃以上ある場合は、その差が15℃以下になるように環境設定してから、床材の施工を開始してください。
- ◎カーペットは早めに開梱し仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工してください。
- ◎グリッパー工法の場合、アンダーフェルトを使用しますと、暖房効率が低下します。

冬季施工 施工温度条件	床表面温度20℃以下の場合には、床暖房を入れ、床表面温度20℃程度に加温してから床材を施工する。	
夏季施工	床暖房を切った状態で施工する。	
接着剤および工法	接着剤:エポグレーS、USセメント 工法:全面接着工法 / グリッパー工法	
養生条件 全面接着工法 施工後2日間は、施工時の温度を保った状態で養生する。		

○東リ製品の床暖房システム対応表

O 214 D 24 H - 2	小阪庁ノヘノムが心公	
	東リ製品	コンクリート埋設型 パネルヒーティング型 (条件:事前加熱・クラック処理) (条件:合板(JAS1類12m以上)捨貼)
コンポジション ビニル床タイル	マチコV、コーデラ、フェイソールプルス、ストレイン、モクリン、モクリン桩目、リフライブ、 ピエスタ、 グラノーブル、 クレイロ、 リノテスタ、 ヴィアーレ、 スレートスクエア	0
複層 ビニル床タイル	MSフレッシュ、MSプレーン、ロイヤルストーン、ライトストーン、ロイヤルウッド、ライトウッド、イークリンエコノNW、イークリンノンスNW、イークリンプレミアNW	0
	LAYフローリング	0
置敷き ビニル床タイル	ルースレイタイル (LL フリー40NW-EX、LL フリー50NW-EX、LL フリー800) 耐シガレットルースレイタイル、耐薬ルースレイタイルLL フリーエクセラ	×
機能性 ビニル床タイル ※ 1	フリータイル、フリータイルS	0
	シガハードプラスNW、NSタイル	×
プラート、プラートF	プラート、プラートF	0
ビニル床シート	フロアリューム全品種、抗菌フロアリューム、TMフロア、SFフロアNW、ホスピリュームNW、 マチュアNW、ノンワックスリュームNW、バスナリアルデザイン、バスナアルティ、 バスナフローレ、ビニル床シート+東リアンダーレイシート※2	0
クッションフロア	CFシート-SD、CFシート-P、ニュークリネスシート	0
	CFシート-H、CFシート-G	×
防滑性シート	NSシート全品種、フロアリュームプレーンエンボス、フロアリュームリッチエンボス	O
	NSシート+NSアンダーレイシート	×
機能性 ビニル床シート ※ 1	アースリューム、ファクトリューム、オペリューム、ニュースタンロード、 帯電防止フロアリューム、耐薬スーパーKシート、耐薬スーパーKシートエクセラ	X
タイルカーペット	GAシリーズ (GA-100N、GA-400N除く)、GXシリーズ、エクスクロームシリーズ、MTEシリーズ、ゆいそめ The DRESS、タイルカーペット用アンダーレイシート+タイルカーペット (GA-100N、GA-400N除く) ※2	0
	GA-100N、GA-400N、ファブテックタイル	×
東リファブリックフロア	全品種 ※2 ※3	Ö
ロールカーペット	全品種	0
ニードルパンチカーペット	O.I.C	O

- ※1 機能性床材は機能が低下する可能性があります。 ※2 床暖房上に敷設した場合は、床暖房の昇温に時間を要します。
- ※3 塩ビタイルやクッションフロア仕上げの床暖房下地に敷設すると、吸着材によって下地床材が変色する可能性があります。表面仕上げ材の種類をご確認の上施工してください。

注意

■床暖房に関するご注意

◎床暖房が敷設されている仕上げ材の上に、クッションやカーペット、ソファや家具など、放熱を妨げるものを長時間設置しないでください。設置された箇所が蓄熱し、仕上げの塩ビ床材が変質・変色する原因となります。併せて床暖房メーカーの「使用上のご注意」もご確認ください。

■ホットカーペットに関するご注意

◎塩ビ床材の上に直にホットカーペットを敷かないでください。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所にのせていると、塩ビ床材変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの「使用上のご注意」をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わることがないようにご注意ください。

SGタイル・カスタムSGタイル・SGカーペット

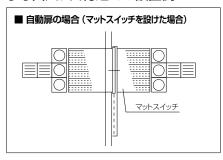
施工上の特性

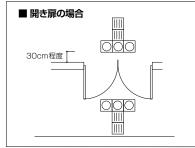
- ◎視覚障害者床材は視覚障害者を誘導する役割をもつ床材です。以下は必ずご注意ください。
 - ●剥離、突上げ、反りなどが生じて、歩行時に危険を伴うものであってはなりません。
 - ●施工時間が多少長くかかる場合がありますが、安全を第一に考慮して施工してください。
 - ●切込みなど変則的なカットをして使用すると、視覚障害者に危険と不安を与えることがあります。 絶対に行わないでください。
- ◎他の床材の上に貼り重ねず、周囲の床材と同レベルで施工します。
- ◎ SGタイルには、「エポグレー S」 または 「USセメント」 を、カスタム SGタイルには 「USセメント」 を使用します。 一般 のゴム系糊は絶対に使用しないでください。SGカーペットは「エコGAセメント」を使用します。
- ○SGタイルはビニルの配合率が高い(充填材が少ない)ため、寸法変化しやすく、温度の影響を受けやすいのでご注意くだ さい。また、目地はすかし気味 (O.5mm程度) で施工してください。

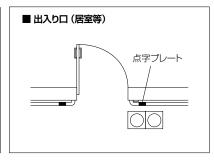
※床材の適切な敷設が、視覚障害者の認識性と安全性を高めます。

※視覚障害者が歩行する際の認知を確実にするために、誘導用ブロック・タイル等の突起形状と配列が JIS T 9251 により規定されています。

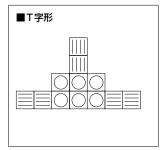
[1] 出入り口付近での設置例

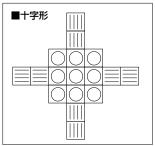


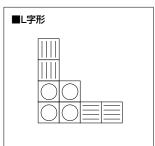


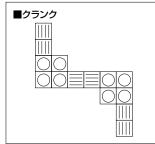


[2] 経路分岐点の標準的な設置例 (30cm角)

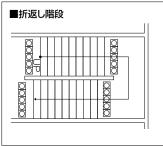


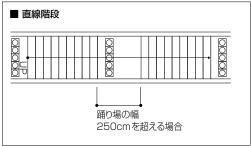






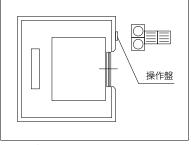
[3] 階段での設置例





- 視覚障害者が手すり付近を歩く際にも踏み外さないよう、階段の幅いっぱいに敷設する。
- ●踊り場の幅が250cmを超える場合は、点状ブロックを敷設する。

[4] エレベータホールでの設置例



- ●点状ブロックは操作盤の中心にくるように



施工手順

- 1 設計仕様書に指示がある場合はそれに従って割付けます。
 - ※特に指示が定められていない場合、左ページの例を参考にしてください。
- ② SGタイルの場合、癖がある時は一旦保温し、癖を取り除きます。

保温する際には局部的な加熱は避け、一枚ずつ暖かい所(30 \sim 40 $^{\circ}$)に仮敷きすると効果があります。

③ 周囲の床材の種類に応じた工法で施工します。

[SGタイル/周囲がビニル床タイルの場合]

- ①割付けに従ってSGタイルの位置を墨打ちします。
- ②ビニル床タイルを部屋の中央部分から貼り始めます。接着 剤は床材の指定接着剤を使用します。
- ③SGタイルを貼る位置に、エポグレーSまたはUSセメントを塗布し、貼付けます。ハンドローラーで目地部を重点的に圧着してください。

◎基本的な流れ



注意

- ●目地はすかし気味(O.5mm程度)で施工します。
- SG タイルの接着剤とビニル床タイルの接着剤は異なる ので待ち時間に注意してください。
- SG タイルに癖がある時は、接着剤が硬化するまで重石 などをします。
- ●カスタム SG タイルの場合は US セメントを使用してください。

[SGタイル/周囲がビニル床シートの場合]

◎基本的な流れ SGタイルを 貼付ける SH付ける

- ①割付けに従ってSGタイルの位置を墨打ちします。
- ②SGタイルを貼る位置に、エポグレーSまたはUSセメントを塗布し、貼付けます。ハンドローラーで目地部を重点的に圧着してください。

(接着剤や注意事項は周囲がビニル床タイルの場合に準じます) ③ウレタン樹脂系接着剤 (US セメント)を使用してビニル床シート を貼付けます。

[SGカーペット/周囲がタイルカーペットの場合]

●基本的な流れ SGカーペットを貼付ける 助ーペットを貼付ける

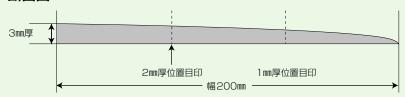
基本的に [SGタイル/周囲がビニル床タイルの場合] と同様に施工します。

※ただし、接着剤はSGカーペット、周囲のタイルカーペットとも、 エコGA セメントを使用します。

施工上の特性

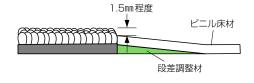
- ○段差調整材は厚みのあるタイルカーペットと薄手のビニル床タイルやビニル床シートなど様々な高さの床材間の段差調整ができます。
 - 段差調整材の下地および段差調整材上への床材の施工は指定接着剤を使用してください。 上下面とも同じ接着剤をご使用ください。接着剤が変わると、突上げや目地スキの原因となる場合があります。
 - ※指定接着剤:エポグレー ST、US セメント、低臭US セメント、US200
 - ●施工の前に一度仮置きして、段差の状況をご確認ください。

断面図

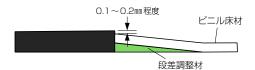


- ※1mm厚および2mm厚の位置に、裏面にカット用の目印線が入っています。
- ※施工現場で一度仮置きしてご確認ください。
 - 段差調整部分は、薄い床材に塗布する接着剤の厚みを考慮し、薄い床材側が低くなるように割付けることをおすすめします。またタイルカーペットの場合は、パイルの厚みを考慮してください。 石材やセラミックタイルなど厚みが厚く、明らかに段差調整材の高さが足りない場合は、タイルなどを捨貼りし高さ調整を行います。

タイルカーペット

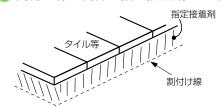


置敷きビニル床タイル



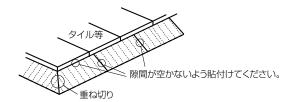
施工手順

1 割付け線の内部に指定接着剤を塗布します。



② 段差調整材を貼付けます。

出隅・入隅部分は重ね切りしてください。 貼付け後はしっかりと圧着してください。



- ●段差調整材上に施工する床材の目地と段差調整材の目地が 重ならないように割付けてください。
- ●段差調整材および床面に指定接着剤を塗布します。
 - ※段差調整材の部分と周りの床仕上げ材部分との接着剤が異なる場合、待ち時間の差にご注意ください。
 - ※段差調整材への接着削塗布は通常待ち時間が若干長くなります。
- ●施工後、ローラーで充分圧着してください。

重ね貼り工法

重ね貼りは、モルタル・コンクリート下地に施工する場合と異なり、床材に剥がれ、膨れなど不具合が発生するリスクが高くなり推奨しておりません。ご採用の場合は注意して施工してください。

施工上の特性

既存床の状態・用途・施工後の使用条件などを事前にご確認ください。 下記のような場合、床材を重ね貼りすることができません。

- 既存床に浮き・剥がれ等がある場合。 既存床の下地への接着が悪くなっているので、床材を貼付けても既存床ごと剥がれることがあります。
- 既存床が柔らかい場合 (シート、コルク、ゴムなど)。 静荷重、動荷重による影響を強く受け、床材に凹みや剥がれが発生することがあります。
- **静電気が問題となるような場合。** 床の漏洩抵抗が高くなり、静電気が逃げにくくなるので、放電によるトラブルが発生することがあります。
- ●耐動荷重性能が必要とされる場合(使用条件によって既存床に不具合が出ている場合)。
- ●接着剤の溶剤により、既存床の溶解・膨潤・剥離が起こる場合。 貼り床用の接着剤に含まれている溶剤で既存床に膨潤・溶解等が起こり、剥がれが発生することがあります。
- 既存床表面がフラットでない場合 (エンボス加工がされている場合)。 接着剤の塗布過多による床材の膨れが発生。また、経年変化で下地の凹凸が床材表面に浮き出てくることがあります。
- 既存床が黒糊 (アスファルト糊)、ラテックス形、エマルション形で施工されている場合。 上材の動きを充分に止めることができず、床材の反り、剥がれ等が発生することがあります。
- 既存床にUV 樹脂などの樹脂コーティングがされている場合。 コーティング剤の剥がれによる床材の剥がれや接着不良などが発生します。
- 注意

重ね貼り時の下地湿気について

- ◎既設床材に下地湿気の問題がなくても、重ね貼りすることで下地湿気の影響を受けやすくなります。 これは上から新しく床材を貼り重ねることによって、下地湿気の逃げ口をふさいでしまうためです。 土間コンクリートは下地湿気が生じやすいので、防水フィルムの有無を確認してください。
 - ※タイルカーペットルースレイタイル・ファブテックタイル・LAYフローリングなど、ピールアップ形接着剤を使用した重ね貼りは通常の施工方法で問題ありません。

施工手順

- 🚺 既設床材の点検、補修を行います。
 - あらかじめ床材を搬入し、施工環境になじませます。 (特に冬期施工では要注意:床材が施工環境になじむには3~ 4日は必要です)
 - 注意

下記の場合、下地補修および調整が必要です。

- ●既存床の欠損が軽微で重ね貼りが可能な場合。→既存床と同じ材質のもの、もしくは相性を確認の上、 エポキシ樹脂系の下地補修材等で補修します。
- クラック
 - →クラック注入剤によりクラック内部から補修します。
- ●下地にワックス等が塗布されている場合。→ワックスをリムーバー等により除去します。

- ② 反応形接着剤を少なめに塗布します。
 - ●既設床材は吸水性がないため、接着剤の塗布量を少なめにします。くし目ごての山の高さを 2/3 ~ 1/2 に削り調整すると効果的ですが、貼付け可能時間が短くなり、接着強度が小さくなるので注意してください。

注意

- ●両面くし目ごてをご使用の場合は、くし目の細かい 側で塗布してください。
- ●待ち時間が短いと膨れや突上げなどのおそれがあります。
- 3 床材を貼り、充分に圧着します。
 - ●接着剤の塗布量が少ないので、Tローラー(タイルローラー) などで充分に圧着し、くし目山をつぶします。
- 4 重量物の往来、温度変化などを避け、充分に養生します。
 - ●改装工事では新築工事よりも養生期間が短くなりがちなので注意が必要です。

